

全自動洗濯機

品番 HCW-5100WH

このたびは、お買い上げまことにありがとうございました。
ご使用前に、この「取扱説明書」と添付の「保証書」をよく
お読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、
いつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管
してください。

保証書と引渡し確認書は
必ずお受け取りください。



目次

安全上のご注意.....	1
各部の名称と外形寸法.....	5
操作部の名称とはたらき.....	7
試運転モニターの運転方法.....	8
試運転モニターについて.....	9
運転のしかた.....	13
洗剤、柔軟剤のセット方法.....	14
ドラム洗浄について.....	14
プログラムの変更ボタンについて.....	15
プログラムの内容.....	16
各種設定のしかた.....	17
積算カウンターの表示.....	23
停電時の処置.....	25
トラブルモニターについて.....	26
点検のお願い.....	27
修理を依頼される前に.....	28
アフターサービスと保証について.....	28
転居または移設の場合.....	28
仕様.....	29
据付工事編.....	30
機械の据え付け.....	33
電気工事.....	38
配管工事.....	39
プログラム設定内容記録表.....	42

ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

<http://aqua-has.com/support/reg/>



安全上のご注意

★必ずご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

★ここに示した注意事項は

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

オーナーの方へ

- 「安全上のご注意」の中でご使用になる方への項目は、製品にも注意ラベルで表示してあります。お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守ってお使いいただけるよう管理・指導をしてください。
- 製品に表示している注意ラベルが破れたりはがれたり、また絵や文字が見えにくくなった場合には、お買い上げの販売店で新しい注意ラベルをお求めいただき、必ず貼り替えてください。



警告

引火物を洗濯機の中に入れない

灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどをドラムの中に入れたり、それらの付着した衣類を洗濯したりしないでください。爆発や火災のおそれがあります。



禁 止

点検やお手入れを行うときは

機械の点検やお手入れを行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電や回転部、振動部への接触によるけがのおそれがあります。



電 源 確 認

ドラム内に衣類以外のものを入れない

ドラム内には衣類以外の物や人、動物を入れて運転しないでください。破損の原因となったり、また人や動物には非常に危険です。



禁 止

衣類の取り出しは停止してから

衣類はドラムの回転が完全に停止してから取り出してください。衣類が手などに巻きついてけがをするおそれがあります。



強 制

洗濯以外の用途に使用しない

この洗濯機を衣類など水洗物の洗濯以外に使用すると、故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。



強 制

警告

前面板・后面板・コントロールパネル・ 天板を外したままで運転しない

脱水時に機械の振動が大きくなり故障の原因となったり、回転部に触れるとけがをするおそれがあります。



禁 止

操作パネルに水をかけない

操作パネルに、水をかけたり、ぬれた手で触れたりしないでください。故障したり、ショート・感電の原因となります。



水かけ禁止

ドラムの中には入らない

ドアは一旦閉めるとドラムの内部からは開くことができません。また運転中はドアがロックし、外からも開きません。特に子供によるいたずらに注意し、子供だけで操作したり、ドラム内に入って遊んだりすることがないようにしてください。



禁 止

改造、分解や修理はしない

自分で絶対に改造、分解や修理はしないでください。感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。



分解禁止

屋外には設置しない

この洗濯機は室内用です。屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となるので、必ず室内に設置してください。



禁 止

アースは確実に取り付ける

専門の工事業者に依頼し、必ず本機専用のD種接地工事（第3種接地工事）を行ってください。万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させるためです。工事は接地工事についての指示に従ってください。（☞ ページ38）



強 制

湿気の多い場所への設置はしない

湿気の多い場所には据え付けしないでください。機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。



禁 止

本機を廃棄するときは

本機を廃棄される場合は、子供のいたずらによるとじ込め事故防止のため、前面のドアを取りはずしてください。



廃棄時ドア分解

漏電遮断器は必ず取り付ける

本機を据え付けるときは、指定の過電流遮断器内蔵の漏電遮断器を取り付けてください。（☞ ページ38）

故障して漏電、過電流が流れた場合、感電、火災のおそれがあります。



強 制

機械の据え付け・電気工事・配管工事は、 絶対に自分でしない

機械の据え付け・電気工事・配管工事は、絶対に自分でしないでください。感電やショートによる火災、洗濯機や建物の破損のおそれがあります。専門の業者に工事を依頼してください。詳しくは、「据付工事編」を参照してください。（☞ ページ30～41）



強 制

警告

長期間ご使用にならない時は

電源プラグをコンセントから抜き、給水の元栓を閉めてください。絶縁劣化による感電や漏電火災などのおそれがあります。



電源、水栓確認

ドラム内の清掃に可燃物を使用しない

ドラム内の清掃にシンナー、石油などの可燃物を使用しないでください。残留成分により、爆発、火災がおこるおそれがあります。



禁止

電源プラグの取扱い

・ぬれた手で電源プラグを持たないでください。感電するおそれがあります。

・電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。断線や接触不良による火災のおそれがあります。

・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



禁止



強制

・定格 15A 以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

・電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふいてください。放置すると火災の原因になります。



強制

安全管理をしてください

この商品は、遠心機械です。1年以内毎に1回、自主定期検査を行い、記録を3年間保管してください。（労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 141条3項）

また、洗濯機から衣類を取り出すときは、回転が停止してから行ってください。

（労働安全衛生規則 第139条）



強制

注意

大型の物を入れない

ぬいぐるみ、まくら、運動用サポーター、じゅうたん、マット、布団等は、洗い、すすぎ、脱水をしないでください。脱水中に異常振動を起し機械が破損したり、衣類が損傷するおそれがあります。



禁止

防水性の衣類を入れない

防水性のシートや衣類等は、洗い、すすぎ、脱水をしないでください。脱水中に異常振動を起し機械が破損したり、衣類が損傷するおそれがあります。



禁止

塩素系漂白剤は直接衣類にかけない

塩素系漂白剤は直接衣類にかけないでください。衣類が変色するおそれがあります。



禁止

洗濯物は適正な量で使用する

衣類は、ドアに衣類が挟まらないように入れてください。また、衣類1枚などの極端に少ない量や、最大洗濯容量以上での洗濯運転も行わないでください。洗いやすすぎが悪くなるばかりか、衣類を傷めるおそれがあります。



入れすぎ注意

⚠️注意

水（湯）が入ったままで停止したときは、管理者に連絡する

水（湯）が入った状態でドアを開くと洗濯機内部に水（湯）がかかり、感電や漏電をおこしたり、またやけどをするおそれがあります。ドアを開けずに管理者に連絡をしてください。



強 制

衣類を確認する

ポケットの中を確認して、マッチやライター、ヘアピン、硬貨、釘などを取り出してください。衣類を傷つけたり機械が破損するおそれがあります。



衣類確認

給湯に使用する温水は

給湯に使用する温水は60℃以下にしてください。高温水を使用すると衣類を傷めたり、プラスチック部品の変形や傷みにより感電や漏電がおこるおそれがあります。



給湯温度注意

製品の後ろ側などに入らない

製品の後ろ側に入ったり、上に乗ったりしないでください。可動部や高温部に触れてけがや、やけどをするおそれがあります。



禁 止

デリケートな衣類は洗濯ネットに入れる

薄い化繊やレース、また飾りなどの付いた衣類を洗うときは、必ず洗濯ネットに入れて洗濯してください。傷付きや、破れのおそれがあります。



デリケート衣類注意

冬場、凍結のおそれがあるときは配管に断熱材を施す

配管に凍結のおそれがある場合は、給水、給湯ホースに断熱材を施してください。ホースが破損すると水漏れが生じ、感電や漏電のおそれがあります。



凍結注意

指定洗剤以外は使用しない

洗剤、柔軟剤は指定のものを適量でご使用ください。指定以外の洗剤、柔軟剤を使用すると、泡が立ちすぎたり、ホースの変形や傷みにより感電や漏電がおこるおそれがあります。また、ポンプの故障につながるおそれがあります。



禁 止

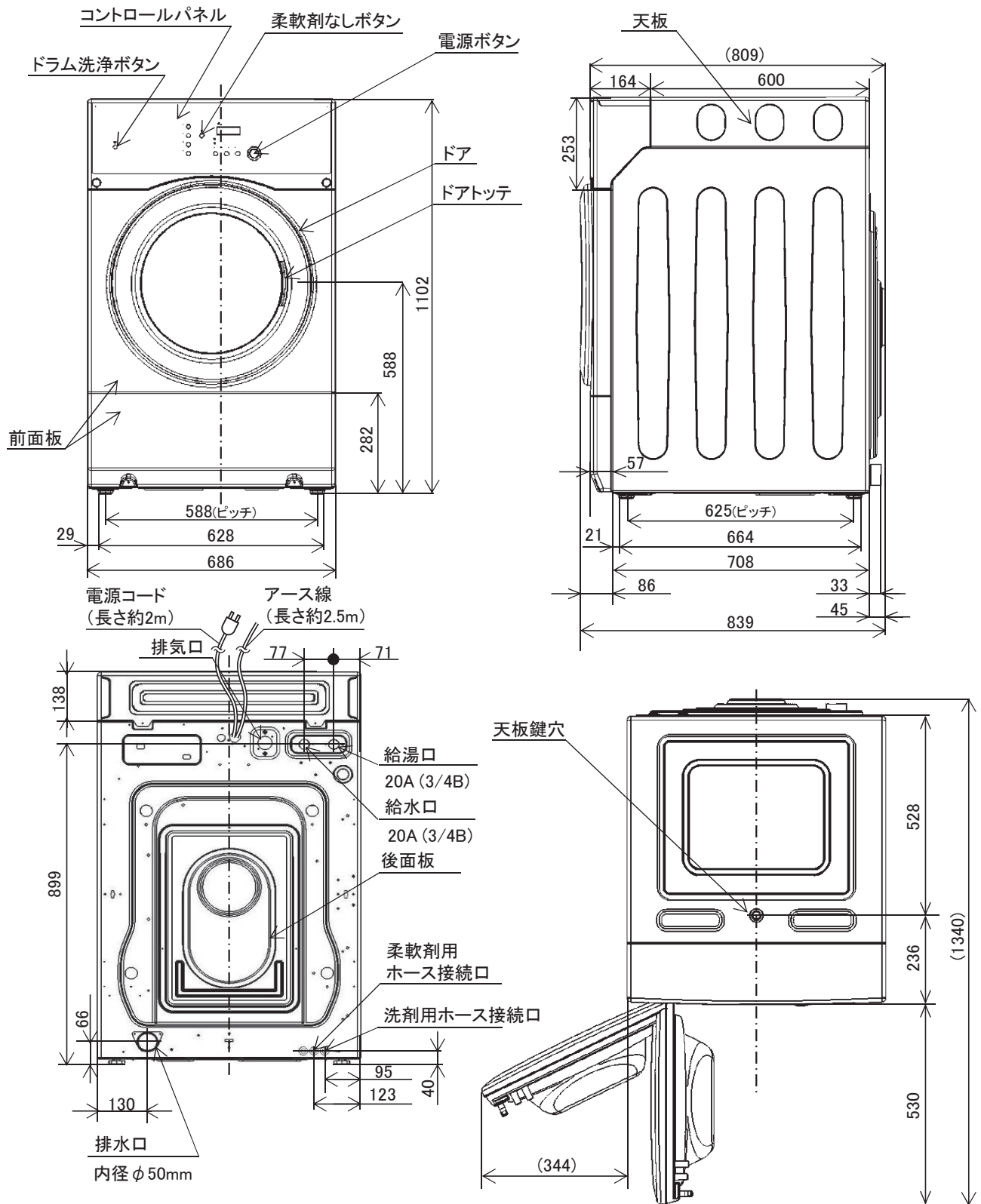
据付工事の際、電源仕様を確認する

据付工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているか確かめてください。電源仕様が異なっていると故障や異常動作によるけがのおそれがあります。



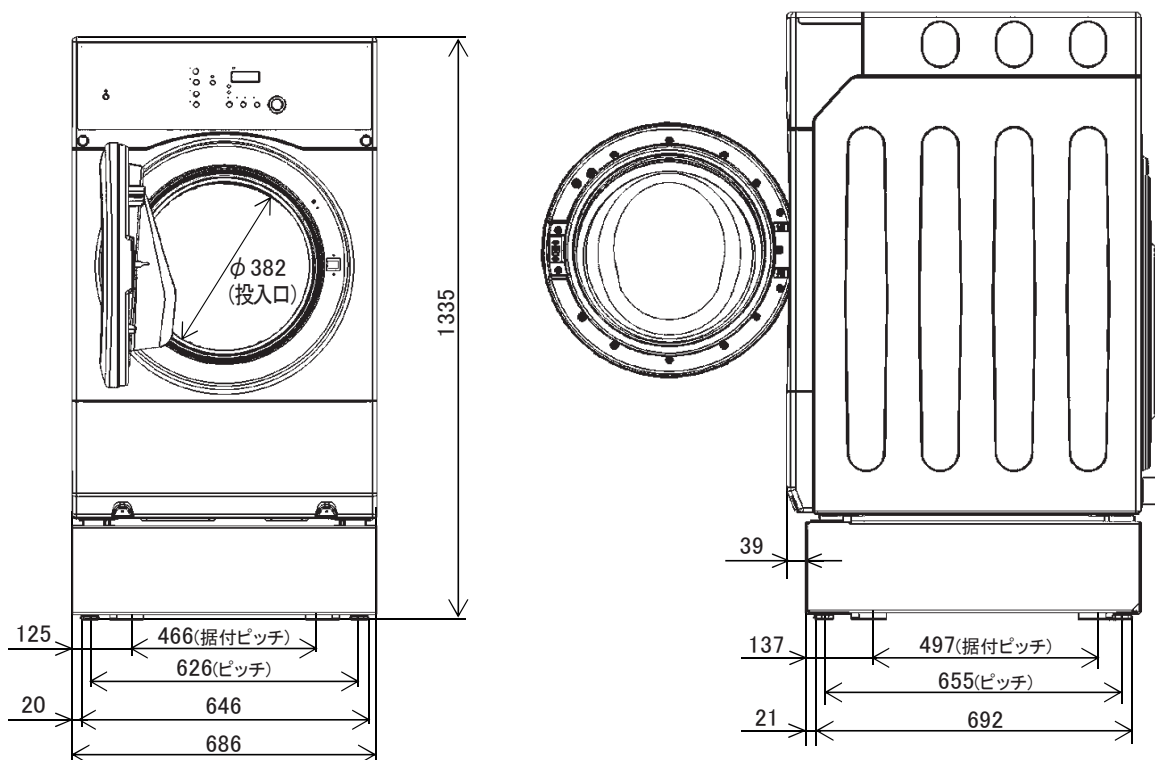
電源仕様確認

各部の名称と外形寸法



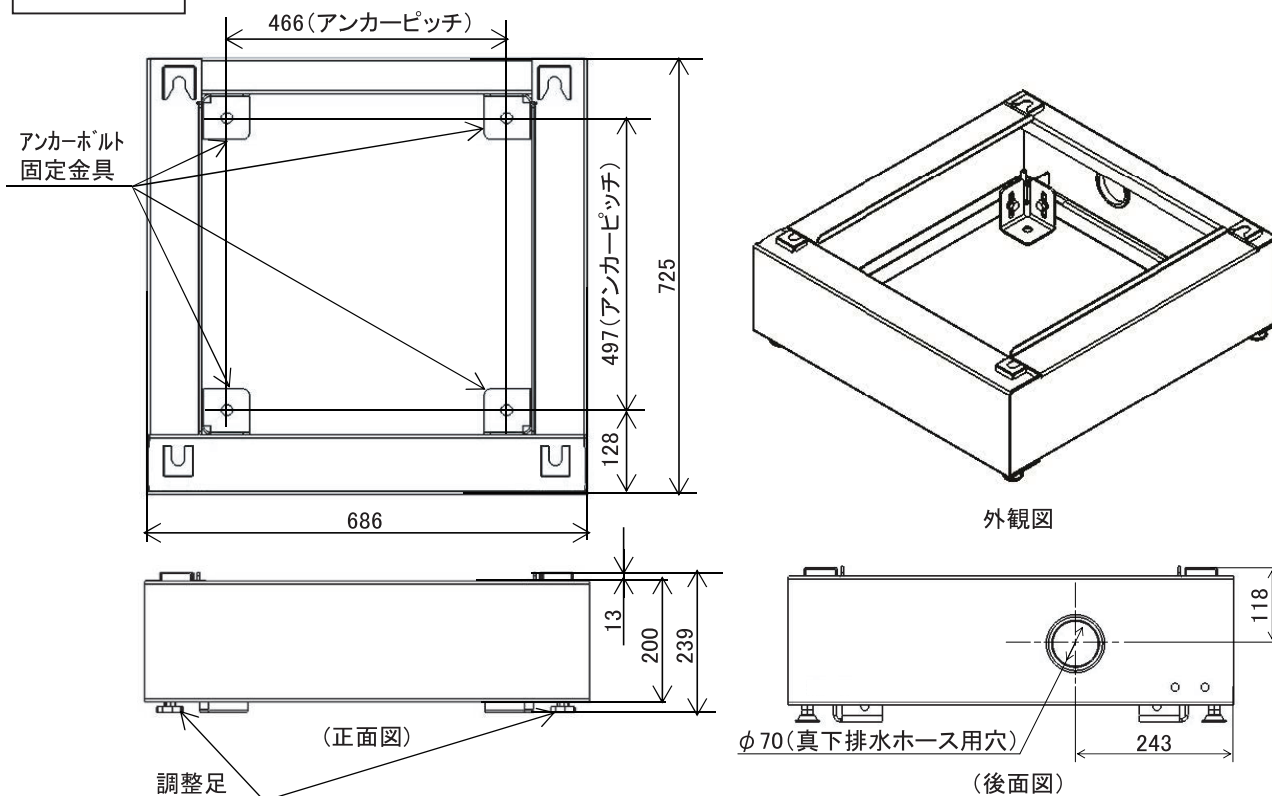
架台取付時

- ・架台は別売りです。
- ・架台を取り付けるために、製品本体の調整足の高さを 23mm に変更する必要があります。



架台

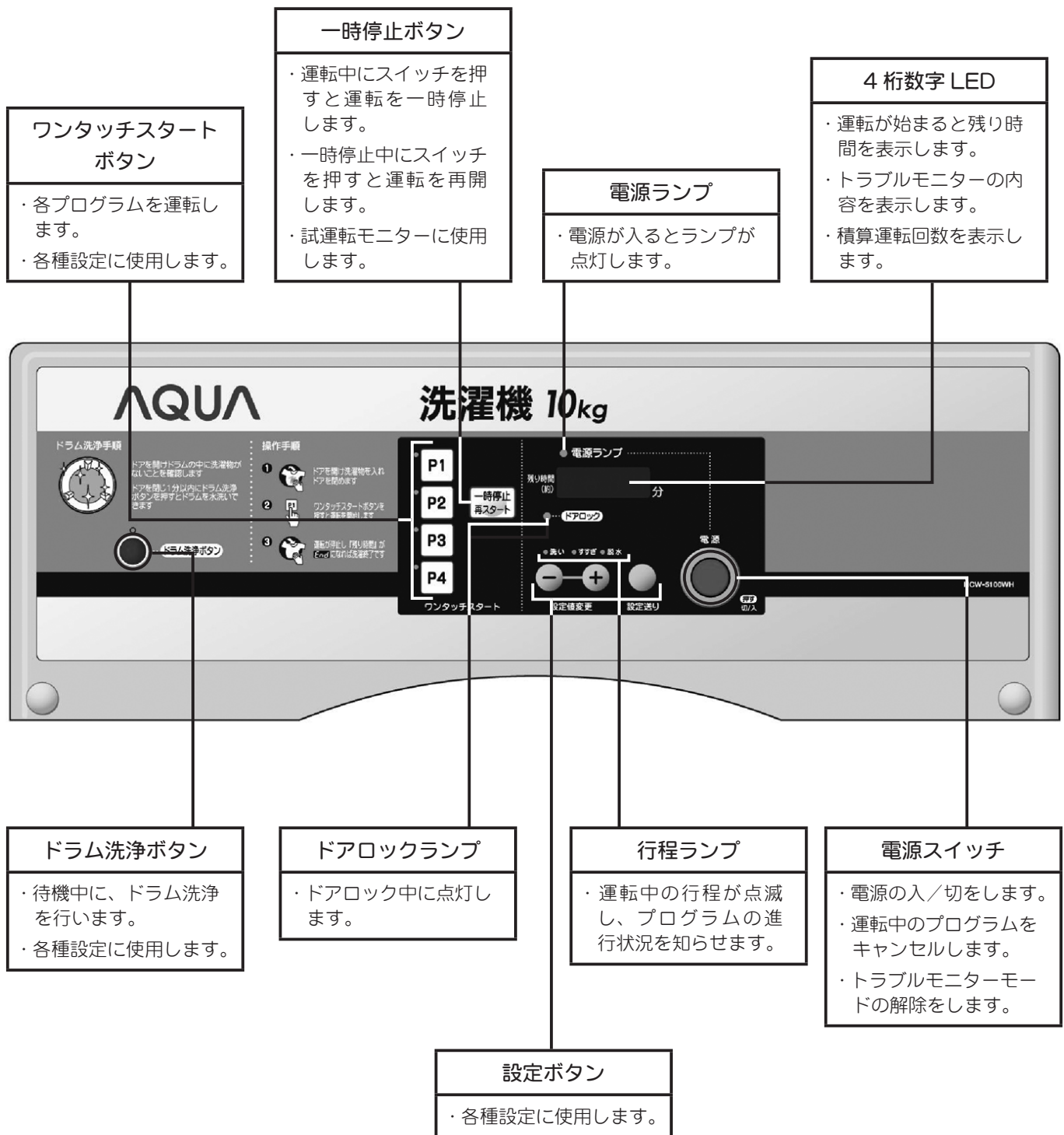
- ・架台は別売りです。



※架台 (HHH- カダイ) は別売りです。

お買い上げの「販売店」または本誌裏面掲載の「総合相談窓口」にご相談ください。

操作部の名称とはたらき



試運転モニターの運転方法

- 据え付け時には試運転モニター P57 の運転を必ず行ってください。
- 試運転モニターの運転により各行程の動作確認ができます。
保守点検時の各行程の動作確認にご利用ください。

準備

- 洗濯物はいれない。(P55 を除く)

① 電源元のブレーカーを入れる。

② 給水、給湯の元バルブを開く。

※給湯ホースを接続しないときは、給湯有無設定を「OFF」にします。(☞ ページ 17 ~ 18)

③ 電源スイッチを ON にする。(電源ランプが点灯します。)

例：試運転モニター P57 の運転

1 ドアを閉じて、「一時停止ボタン」を 10 秒以上押し、試運転モニターに移る



一時停止ボタン

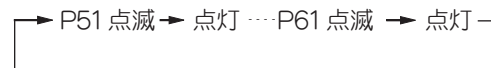
- 「一時停止ボタン」を 10 秒以上押し、P51 を点滅表示させます。

2 「一時停止ボタン」を何回か押し、希望の試運転モニターを選択する



一時停止ボタン

- 「一時停止ボタン」を何回か押し、P51 ~ P61 の希望の試運転プログラム番号を点滅表示させます。
- プログラム番号は、「一時停止ボタン」を押すごとに



に切り替わります。

※ P56 はありません。

3 「一時停止ボタン」を押し、試運転モニターを開始する



一時停止ボタン

- プログラム番号が点滅から点灯にかわり、ドアが閉じていれば、試運転プログラムを開始します。
- 運転が終了すると、1 秒間ブザーが鳴り、次のプログラム番号を点滅表示します。再度「一時停止ボタン」を押すと点滅表示中の試運転プログラムを開始します。

※P61 のみ運転終了後、試運転モニターを解除します。

- 運転途中で「一時停止ボタン」を押すと、そのプログラムを終了し、次のプログラム番号を点滅表示します。

4 試運転モニターの終了

- プログラム番号点滅中にドラム洗浄ボタンを押すと終了します。
- プログラム番号点滅中に 5 分以上ボタン操作が行われなかった場合終了します。

試運転モニターについて

- 据え付け時の試運転、保守点検時に各行程の動作を単独または、連続で確認することができます。
(プログラム P57 は連続動作、その他のプログラムは単独動作)
- 試運転モニターの運転は、試運転モニターの運転方法 (☞ ページ 8) の手順に従ってください。
- P55 以外は洗濯物は入れないでください。

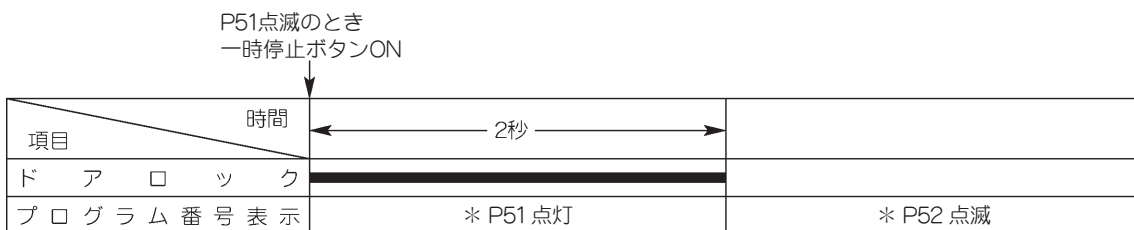
1 試運転プログラム

試運転のプログラム	表示	点検できる項目
①ドアロック	P51	・ ドアのロックと解除の動作
②洗剤、柔軟剤、助剤ポンプ	P52	・ 洗剤、柔軟剤ポンプの投入時間と動作 ・ 助剤ポンプの投入時間と動作 (別途、助剤ポンプ必要)
③給水、給湯バルブ	P53	・ 給水、給湯バルブの動作 ・ 水位センサーの動作 ・ モーターの動作
④排水バルブ	P54	・ 排水バルブの動作
⑤脱水	P55	・ 排水バルブの動作 ・ 水位センサーの動作 ・ モーターの動作
⑥モニター全行程	P57	・ 上記 P51 ~ P55 の連続動作
⑦洗剤ポンプ	P58	・ 洗剤ホースのエア抜き
⑧柔軟剤ポンプ	P59	・ 柔軟剤ホースのエア抜き
⑨予備出力*	P60	・ 予備出力の動作
⑩槽洗浄	P61	・ 薬剤などを利用し、ドラム内を洗浄するためのプログラムです。

※ 予備出力には何も接続されていません。予備出力は、本機に助剤投入装置を追加した場合に使用します。

2 各行程の動作

① ドアロック [表示 : P51 点灯 → P52 点滅]



* ドアロックできない場合は、ドアロック不良“H00”を表示。

② 洗剤、柔軟剤、予備出力※ [表示：P52点灯→P53点滅]

P52点滅のとき
一時停止ボタンON

項目	時間							37秒
	1秒	1秒	5秒	5秒	5秒	5秒	15秒	
ドアロック	■							
給水バルブ	■							
洗剤ポンプ			■					
柔軟剤ポンプ				■				
予備出力※					■			
ドラム右回転						■		
排水バルブ	閉							開
プログラム番号表示	P52点灯							P53点滅

※予備出力には何も接続されていません。予備出力は、本機に助剤投入装置を追加した場合に使用します。

③ 給水、給湯バルブ [表示：P53点灯→P54点滅]

P53点滅のとき
一時停止ボタンON

湯のみ 水のみ 両方

項目	時間				給水時間+30秒	30秒
ドアロック	■					
給湯バルブ		■				
給水バルブ		※	■			
ドラム左回転		■	■	■		
ドラム右回転		■	■	■		
水量(L)*		12	22	32	32	
排水バルブ	閉					
プログラム番号表示	P53点灯					P54点滅

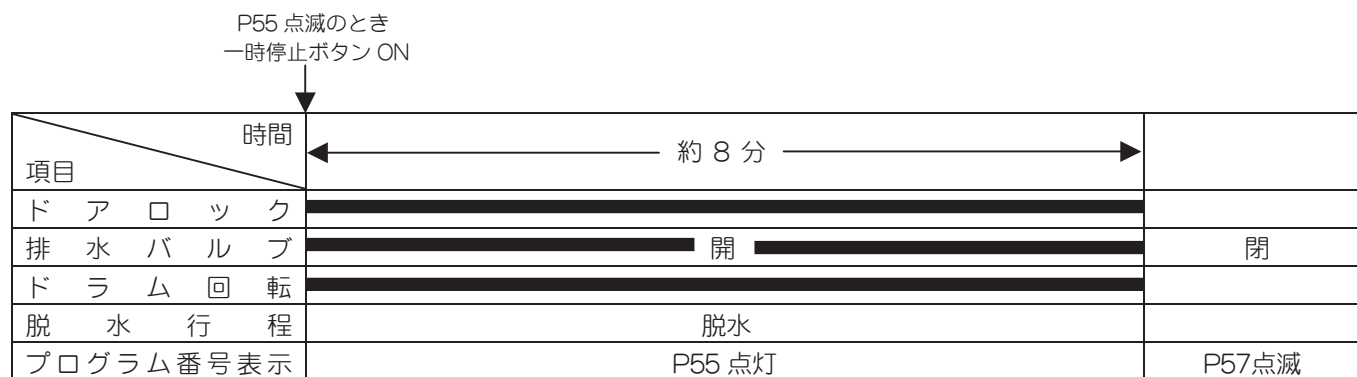
*各水量到達ごとにブザーが鳴りドラムと給水バルブ・給湯バルブが5秒間停止します。
※「oyu=OFF」設定した時、給水バルブが開きます。

④ 排水バルブ [表示：P54点灯→P55点滅]

P54点滅のとき
一時停止ボタンON

項目	時間		排水時間
		5秒	
ドアロック	■		
水量	32L～1L以下		
排水バルブ	■		開
プログラム番号表示	P54点灯		P55点滅

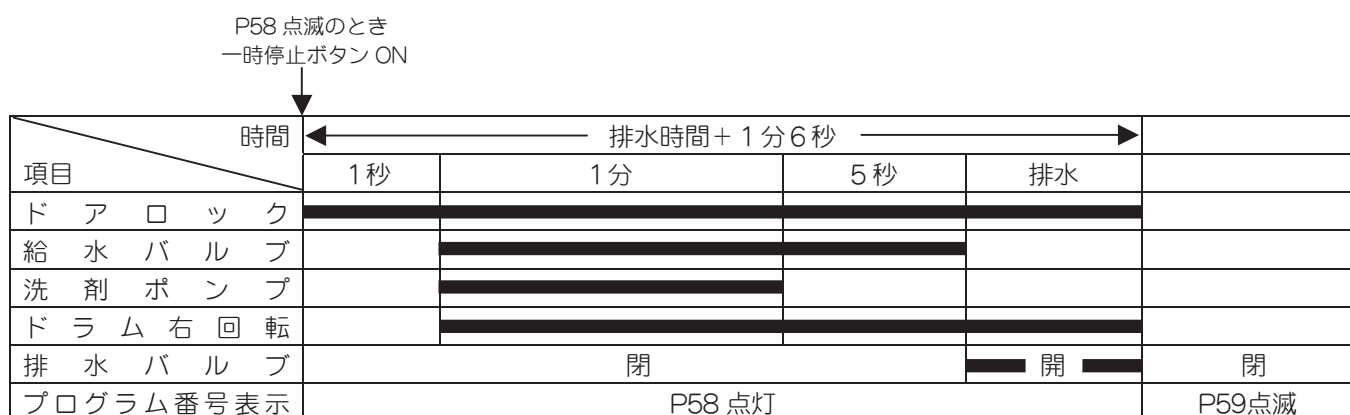
⑤脱水 [表示：P55 点灯→ P57 点滅]



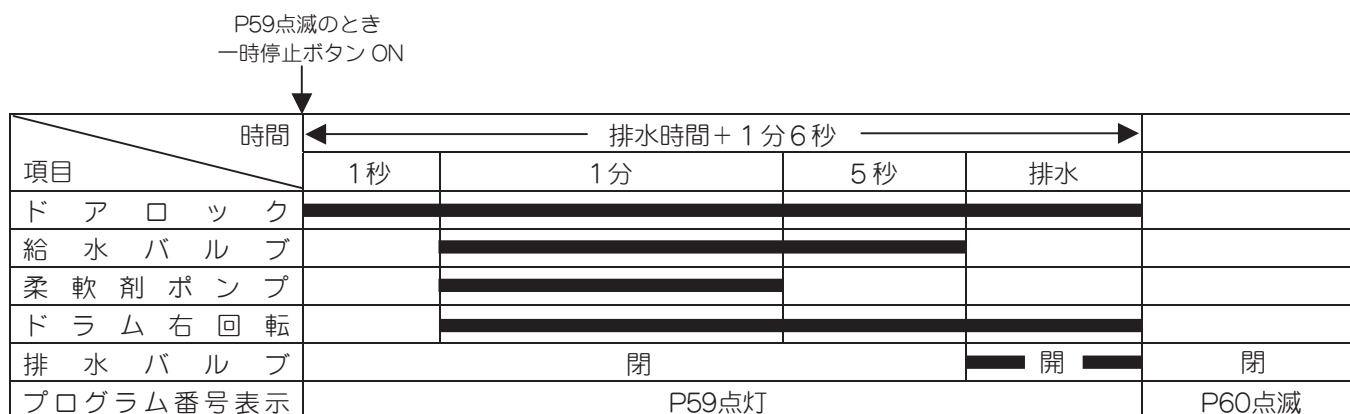
⑥モニター全行程 [表示：P57 点滅のとき一時停止ボタン ON → P57 点灯→ P51 ~ P55 を運転→ P58 点滅]

- 試運転プログラムの P51 ~ P55 の動作を自動的に連続して行います。

⑦洗剤ポンプ [表示：P58 点灯→ P59 点滅]



⑧柔軟剤ポンプ [表示：P59 点灯→ P60 点滅]



⑨予備出力※ [表示：P60 点灯→ P61 点滅]

※予備出力には何も接続されていません。予備出力は、本機に助剤投入装置を追加した場合に使用します。

P60点滅のとき
一時停止ボタン ON

	← 排水時間 + 1分6秒 →	
時間	1秒	1分
項目	1秒	1分
ドアロック	■	■
給水バルブ	■	■
予備出力※	■	■
ドラム右回転	■	■
排水バルブ	閉	■ 開 ■
プログラム番号表示	P60点灯	
		P61点滅

⑩槽洗浄プログラム [表示：P61 点灯→消灯]

メンテナンス・清掃用の“ドラム洗浄専用プログラム”です。ドラム洗浄剤などを使用してドラムを洗浄する際に使用します。

■ 運転方法

[P61] 点滅中にドアを開けてドラム洗浄剤等をドラムに入れてから、一時停止ボタンを押してください。

■ 運転内容

行程	動作内容	時間 (分)	給水量 (L)
洗浄	給水	30	32
	ドラム停止 1		-
	ドラム回転 1	2	-
	ドラム停止 2	30	-
	ドラム回転 2	2	-
	ドラム停止 3	30	-
	ドラム回転 3	2	-
	排水	-	-
すすぎ	給水	5	32
	ドラム回転 1		-
	排水	-	-
	給水	5	15
	ドラム回転 2		-
	排水	-	-
	給水	5	15
	ドラム回転 3		-
排水	-	-	

運転のしかた

- 「P1」～「P4」の中から希望するプログラムのワンタッチスタートボタンを押すと、運転を開始します。

準備

- ①電源元のブレーカーを入れる
- ②給水、給湯の元バルブを開く。
- ③洗剤、柔軟剤をセットする。(☞ ページ 14)
- ④運転プログラムを希望の内容に設定する。(☞ ページ 15～21)

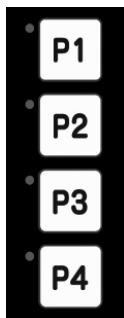
例：P2 のときの運転

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める



- 電源ランプが点灯しているとき、運転ができます。

2 ワンタッチスタートボタン P2 を押す。



- 選択したプログラムの運転時間を表示します。
- 運転時間は目安時間です。実際の運転時間は給水圧および洗濯物により、本体の表示時間とは異なる場合があります。
- 「door」と表示されているときは、ドアが完全に閉まっていません。確実に閉めてください。



運転を開始



3 運転が終了すれば、洗濯物を取り出す

- ブザーが鳴り、「End」と表示されれば運転は終了です。ドアを開け、洗濯物を取り出してください。

End

[最大洗濯容量]
10kg

衣類の重さの目安

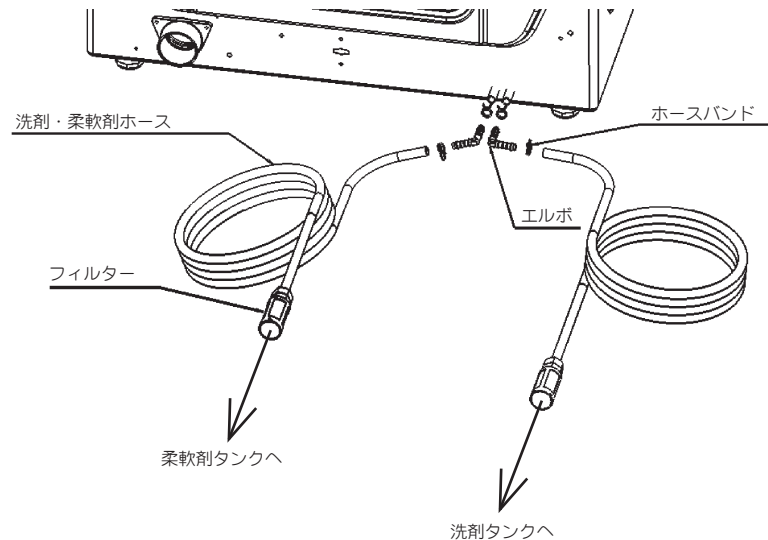
ワイシャツ	約 200g	パジャマ (上・下)	約 500g
子供ズボン	約 200g	半袖肌着	約 110g
シャツ (シングル)	約 500g	長袖肌着	約 130g
タオルケット (薄手)	約 400g	作業服 (上・下)	約 800g
タオルケット (厚手)	約 1200g	バスタオル	約 300g

⚠ 注意

必ず最大洗濯容量以下で洗濯してください。洗濯物が多すぎると洗浄性が悪くなるばかりでなく、衣類損傷事故につながります。また、ポケットの中を確認して、マッチやライター、ヘアピン、硬貨、釘などを取り出してください。衣類を傷付けたり機械が破損するおそれがあります。

洗剤、柔軟剤のセット方法

- イラストに従い給液ホースをセットしてください。洗剤、柔軟剤は当社指定の製品をご使用ください。
- はじめてセットされた後、または洗剤、柔軟剤のタンク交換後に洗剤、柔軟剤が正しく注入されるよう、必ず試運転モニターの P58、P59 (☞ ページ 8 ~ 11 参照) を行い、ホース内のエア抜きを行ってください。
- フィルターは必ずセットしたままご使用ください。ごみの詰まりによるポンプの故障を防止します。
- 凍結のおそれがある場合は、洗剤、柔軟剤ホースに断熱材を施してください。



当社指定の洗剤・柔軟剤

洗剤	柔軟剤
テクノウォッシュ	テクノソフター
肌ピュア洗剤	肌ピュアソフター
ケアウォッシュ	ケアソフター

ドラム洗浄について

- ドラム洗浄を行いたい場合は、以下のように操作してください。

1 ドアを開け、ドラム内に衣類がないことを確認する

- 電源ランプが点灯している待機中にドラム洗浄を行うことができます。

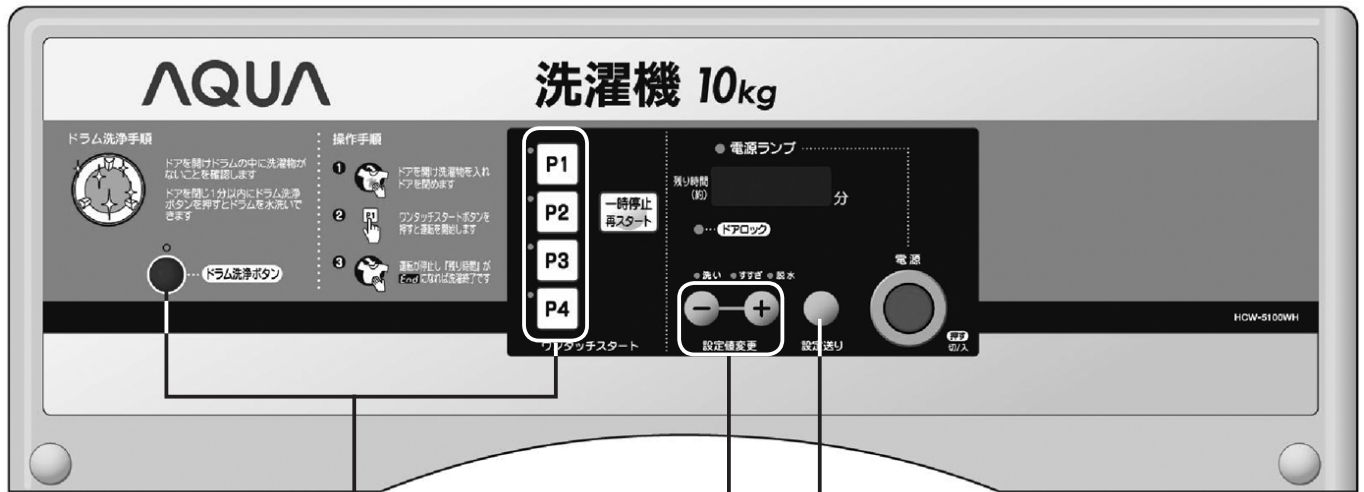
2 ドアを閉め、1分以内に「ドラム洗浄ボタン」を押す



ドラム洗浄終了後、ドアのロックが解除されます。

- ドアを閉じた後 1 分以内に押してください。ドラム洗浄ランプが点灯し、約 2 分間ドラム洗浄を行います。(時間は 1 ~ 5 分に変更できます)
- ドアを閉じて 1 分以上過ぎた場合、「ドラム洗浄ボタン」は受け付けません。再度はじめからやり直してください。
- ドラム洗浄の間、ドアはロックします。
- ドラム洗浄が終了すると、「OPEN」を表示します。

プログラム変更ボタンについて



コース / ドラム洗浄ボタン

設定値変更ボタン

設定送りボタン

名称	はたらき
コース / ドラム洗浄ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム変更したいコースボタン / ドラム洗浄ボタンを5秒間押し続けます。 ※ドラム洗浄ボタンの中に「給湯有無」の設定があります。 ・プログラム変更中に押すと、設定項目「行程種別」を切り替えます。 ・プログラム変更は洗濯機が待機中のみ行えます。 ・各種設定中に変更中のコース / ドラム洗浄を2秒間押し続けると待機中に戻ります。
設定値変更ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・設定値を「+」ボタンと「-」ボタンでパラメータを変更します。
設定送りボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・変更する設定項目「設定種別」を切り替えます。 ・10秒間押し続けると変更内容が書き込まれます。

プログラムの内容

工場出荷時のプログラム

- ・工場出荷時には、あらかじめプログラム番号 P1 から P4 に、4 種類の洗濯コースを設定しています。
- ・各プログラム番号の設定内容を変更する場合はページ 15, 19 ~ 21 のプログラムの設定方法手順に従ってください。

洗濯コース	洗濯物	特徴	行程	行程時間(分)※	設定時間(分)	冷水量(L)	温水量(L)	洗剤(秒)	柔軟剤(秒)	予備出力(秒)※	脱水時間(分)	脱水回転(rpm)	排水有無有:1 無:0		
P1	一般衣類(標準)	通常の洗濯物 洗い:水+湯 すすぎ:水 標準時間コース 運転時間:39分	洗い1	16	9	25	25	2.4				1	600	1	
			洗い2											1	
			すすぎ1	9	2	30						1	600	1	
			すすぎ2	6	2	30			1.6			-		1	
			すすぎ3												
			最終脱水	8									2	940	
P2	一般衣類(少量) ※衣類5kg以下	通常の洗濯物 洗い:水+湯 すすぎ:水 標準時間コース 運転時間:38分	洗い1	15	8	15	15	1.4				1	600	1	
			洗い2											1	
			すすぎ1	9	2	20						1	600	1	
			すすぎ2	6	2	20			1.2			-		1	
			すすぎ3												
			最終脱水	8									2	940	
P3	一般衣類(念入り)	通常の洗濯物 洗い:水+湯 すすぎ:水 標準時間コース 運転時間:53分	洗い1	12	5	25						1	600	1	
			洗い2	17	10	30	30	2.8				1	600	1	
			すすぎ1	10	3	30						1	600	1	
			すすぎ2	6	2	30			1.6			-		1	
			すすぎ3												
			最終脱水	8									2	940	
P4	脱水	脱水のみ 運転時間:8分	洗い1											1	
			洗い2											1	
			すすぎ1											1	
			すすぎ2											1	
			すすぎ3											1	
			最終脱水	8									2	940	

※給水圧が 0.2MPa (2kg/cm²) の時の目安時間です。

※給水、給湯時間は、給水圧と設定水位により異なります。

※脱水のとき、ドラム内で洗濯物の片寄りが大きい場合は、運転時間が長くなる場合があります。

※行程時間は、洗い、すすぎ時間及び脱水時間の設定時間に、給水、排水、バランス制御の時間を加えた時間になります。(給水、排水、バランス制御時間は変更できません。)

※予備出力には何も接続されていません。

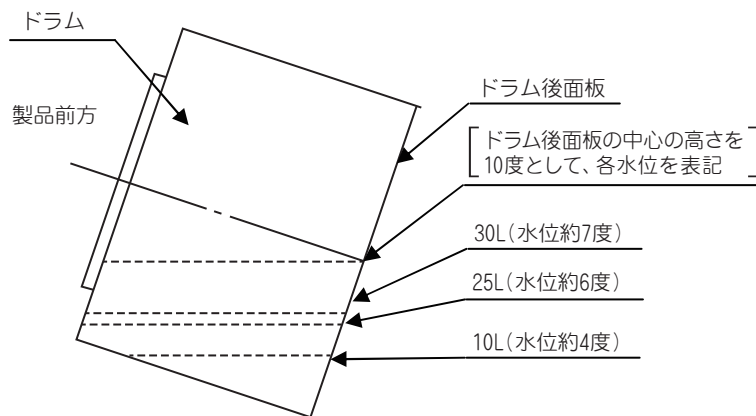


図 給水量と水位

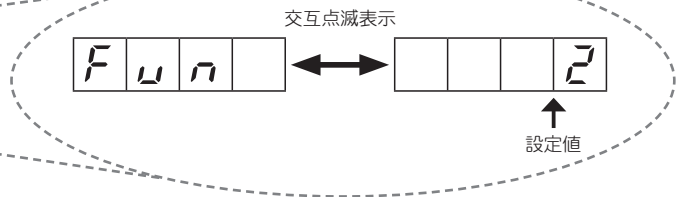
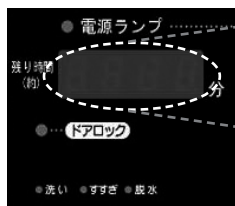
各種設定のしかた

1 機器設定の内容

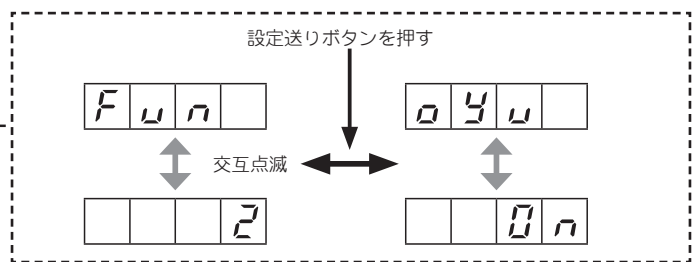
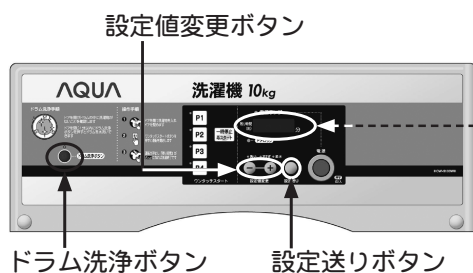
設定項目 (表示)	設定内容	説明	工場出荷時の設定
ドラム洗浄時間 (Fun)	1～5分 (1分単位)	・ドラム洗浄時間を設定できます。	2分
給湯有無設定 (oyu)	ON(有効),OFF(無効)	・給湯バルブ側にホースを接続しない場合、無効にしてください。	ON

●機器設定方法は次のとおりです。

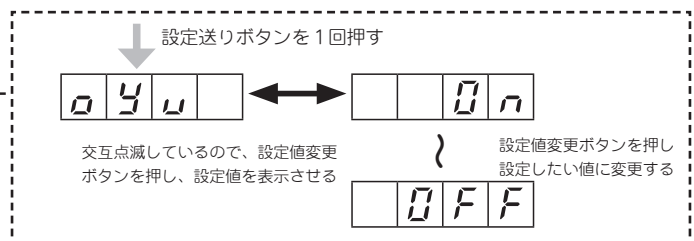
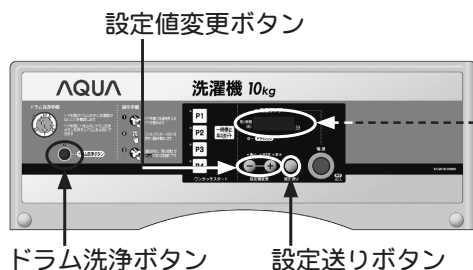
1 まず待機中にドアを開けた状態にします。ドラム洗浄ボタンを5秒間押し続けると、次のように交互に点滅表示されます。



2 設定送りボタンを押すたびに「ドラム洗浄時間設定」と「給湯有無設定」を切り替えます。

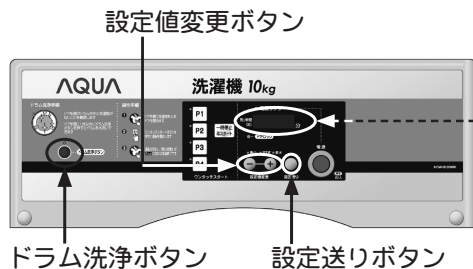


3 設定したい項目を選び、設定値変更ボタンを押すと変更中となり交互点滅が止まり、設定値の表示となります。設定値の変更は設定値変更ボタン「+」「-」によって行います。例：給湯有無を設定する場合



4 同様の操作にて各設定項目の変更を行います。

5 各設定変更後、設定送りボタンを10秒間押し続けると設定が変更されます。



設定送りボタンを10秒間押し続ける
 (設定後は必ず押し続けてください。押さなければ
 変更した内容が書き込まれません。)

<p>ご注意</p>	<p>下記の場合、設定変更した内容が書き込まれないまま通常表示に戻ります。このときはもう一度設定しなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定中5分間ボタン操作が行われなかった場合。 ● 設定反映前に、ドラム洗浄ボタンを2秒間押し続けた場合。
------------	--

2 コース設定の内容

行程種別 No	行程	行程時間 (分)	設定種別 No								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
			設定時間 (分)	水量 (L)	湯量 (L)	洗剤 (秒)	柔軟剤 (秒)	予備出力 (秒)※	脱水時間 (分)	脱水回転 (rpm)	排水有無 有：1 無：0
1	洗い1	16	9	25	25	2.4			1	600	1
2	洗い2										1
3	すすぎ1	9	2	30					1	600	1
4	すすぎ2	6	2	30		1.6			-		1
5	すすぎ3										
6	最終脱水	8							2	940	

- ・太線で囲んだマスの箇所を設定変更できます。(参考に洗濯コース P1 の工場出荷時の設定を表示しています。)
- ・縦を行程種別、横を設定種別と呼びます。
- ・運転時間は、洗い、すすぎの各設定時間、各脱水、最終脱水の時間、給水時間(各行程 3分)、排水時間(1分)、バランス時間(中間脱水:2分、最終脱水:6分)の合計時間になります。給水、排水、バランス時間は変更できません。
- ・脱水のとき、ドラム内で洗濯物の片寄りが大きい場合は、バランス時間が長くなる場合があります。
- ・最後のすすぎ行程に脱水時間を設定した場合、その時間は無効になり、最終脱水行程に移行します。
- ・設定時間を 1分以上に設定した場合、水量もしくは湯量は必ず 5L 以上に設定してください。5L 未満の場合、強制的に水が 5L に設定されます。

※予備出力には何も接続されていません。予備出力は、本機に助剤投入装置を追加した場合に使用します。

設定種別 NO	設定項目	設定内容
1	設定時間 (分)	洗い 1～2:0～10、A1～A10* すすぎ 1～3:0～5、A1～A10*
2	水量 (L) ※	0～32
3	湯量 (L) ※	0～32
4	洗剤投入時間 (秒)	0.0～10.0(0.2秒毎)
5	柔軟剤投入時間 (秒)	0.0～10.0(0.2秒毎)
6	予備出力動作時間 (秒) ※	0.0～10.0(0.2秒毎)、10.0～20(1秒毎)、 20～50(5秒毎)、50～200(10秒毎)
7	脱水時間 (分)	0～10
8	脱水回転数 (rpm)	中間脱水 600、最終脱水 940 中間脱水 500、最終脱水 800 中間脱水 400、最終脱水 600
9	排水有無	排水有：1 排水無：0

*A1～A10に設定した時、A□の□分間ドラムが停止します(給水中はドラムが回転します。)

つけ置き洗いをを行う場合に、A1～A10を設定します。

※給水完了後、水位が下がった場合、補給水を行います。

※水量と湯量の設定について(例)

水量 25L、湯量 25L 設定時；水と湯を同時に投入します。補給水は水と湯を両方使用します。

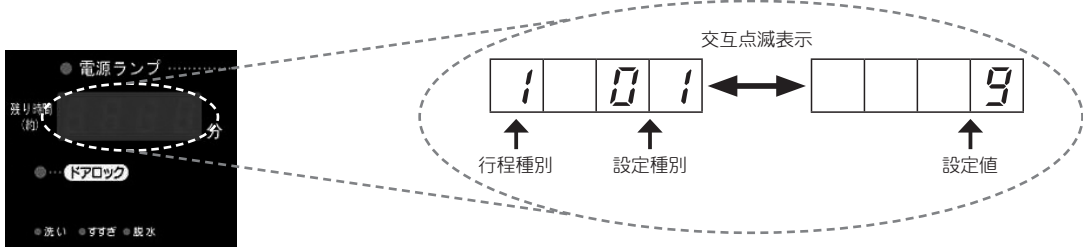
水量 10L、湯量 25L 設定時；まず水のみを 10L 水位まで給水し、次に湯のみを 25L 水位まで給湯します。
補給水は湯を使用します。

水量 25L、湯量 10L 設定時；まず湯のみを 10L 水位まで給湯し、次に水のみを 25L 水位まで給水します。
補給水は水を使用します。

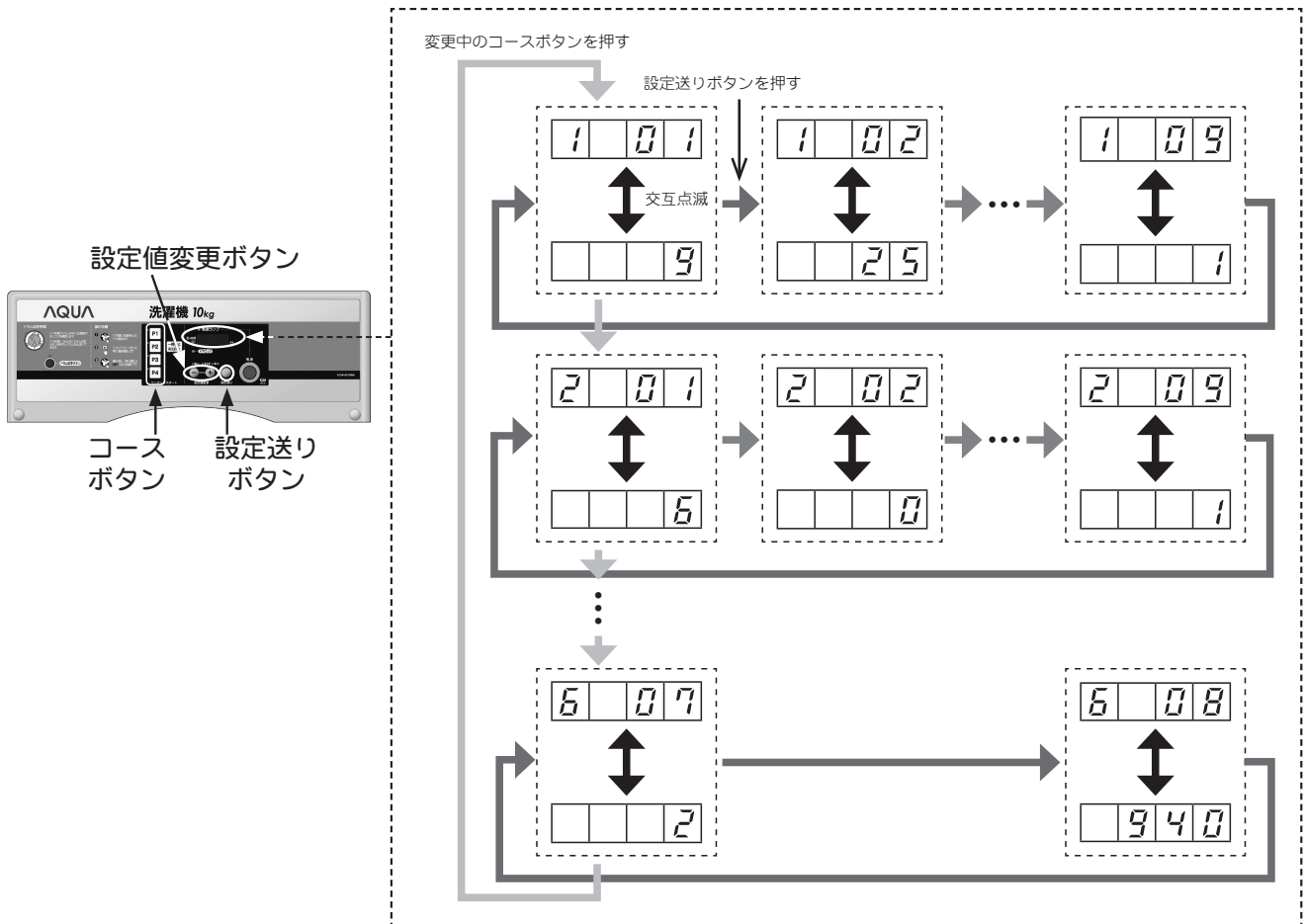
※予備出力には何も接続されていません。予備出力は、本機に助剤投入装置を追加した場合に使用します。

- コース設定方法は次のとおりです。

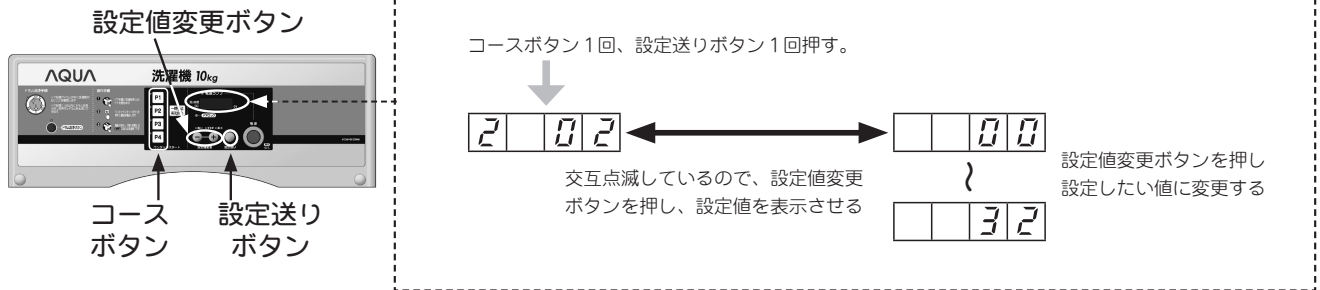
1 まず待機中にドアを開けた状態にします。変更したいコースのボタンを5秒間押し続けると、次のように交互に点滅表示されます。



2 設定送りボタンを押す毎に設定種別が一つずつ増えます。行程種別を変更する場合は、変更中のコースボタンを押しします。

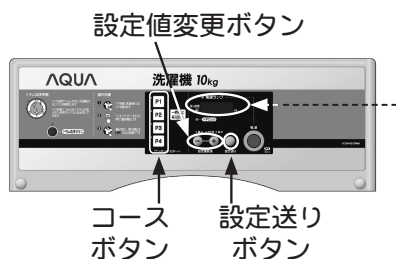


3 設定したい項目を選び、設定値変更ボタンを押すと変更中となり交互点滅が止まり、設定値の表示となります。設定値の変更は設定値変更ボタン「+」「-」によって行います。短く押すと +1 ずつ変化し、押し続けると値の変更が早くなります。



4 同様の操作にて各設定項目の変更を行います。

5 各設定変更後、設定送りボタンを 10 秒間押し続けると設定が変更されます。



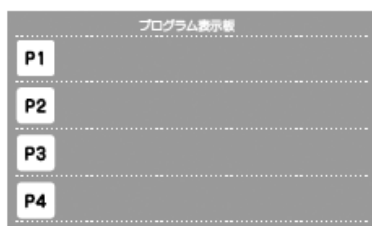
設定送りボタンを 10 秒間押し続ける
 (設定後は必ず押してください。押さなければ
 変更した内容が書き込まれません。)

ご注意

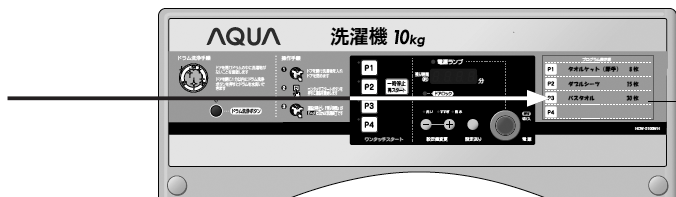
- 下記の場合、設定変更した内容が書き込まれないまま通常表示に戻ります。このときはもう一度設定しなおしてください。
- 設定中に 5 分間ボタン操作が行われなかった場合。
 - 設定中のコースボタンを 2 秒間押し続けた場合。

- 本製品には「プログラム表示板」が付属されています。設定したプログラムの内容を油性ペン等で書き込み、下図の貼り付け位置を参考に、必要に応じて機器に貼り付けてください。

プログラム表示板



貼り付け位置 (参考)

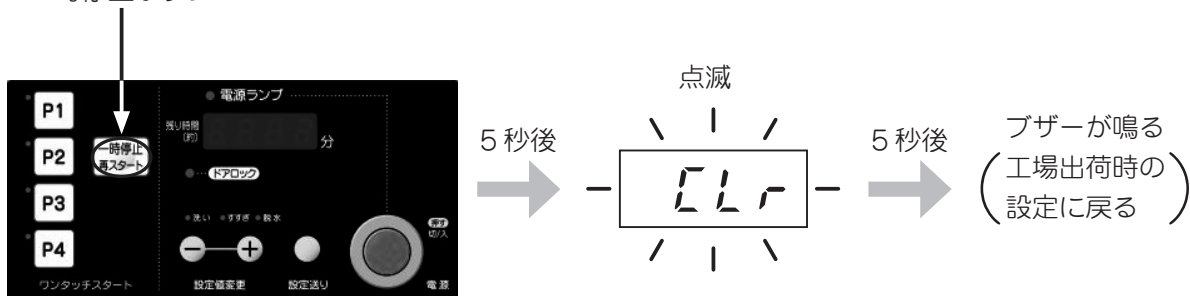


- 工場出荷時に設定を戻すには

1 各設定中に一時停止ボタンを 10 秒間押し続けます。
5 秒後に「**CLF**」が点滅し、さらに 5 秒後ブザーが鳴り、設定中の内容が工場出荷時に戻ります。

※コース設定中の内容のみが工場出荷時に戻ります。一括ですべてが工場出荷時に戻ることはありません。

一時停止ボタン



<p>ご注意</p>	<p>ブザーが鳴る前に一時停止ボタンをはなすと、工場出荷時に戻りません。もう一度やり直してください。</p>
------------	--

積算カウンターの表示

●運転回数やトラブル履歴をモニターするためのカウンター機能です。

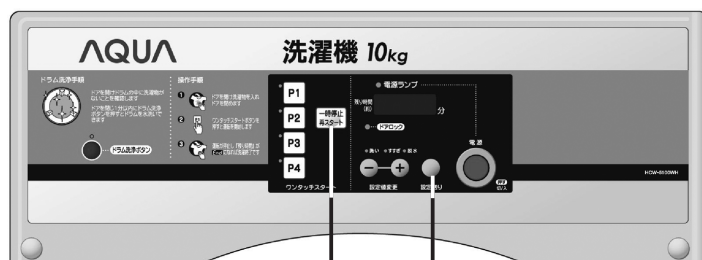
積算カウンターの内容

カウンター記号		積算数の表示
表示記号	設定内容	
CC1	P1 運転回数	0 ~ 999999
CC2	P2 運転回数	
CC3	P3 運転回数	
CC4	P4 運転回数	
E 1	1回前のトラブルコード	
E 2	2回前のトラブルコード	
E 3	3回前のトラブルコード	
E 4	4回前のトラブルコード	
E 5	5回前のトラブルコード	
VEr1	表示基板ソフトウェアバージョン	

●積算カウンターは、はじめに1～4桁次に5～6桁を表示します。

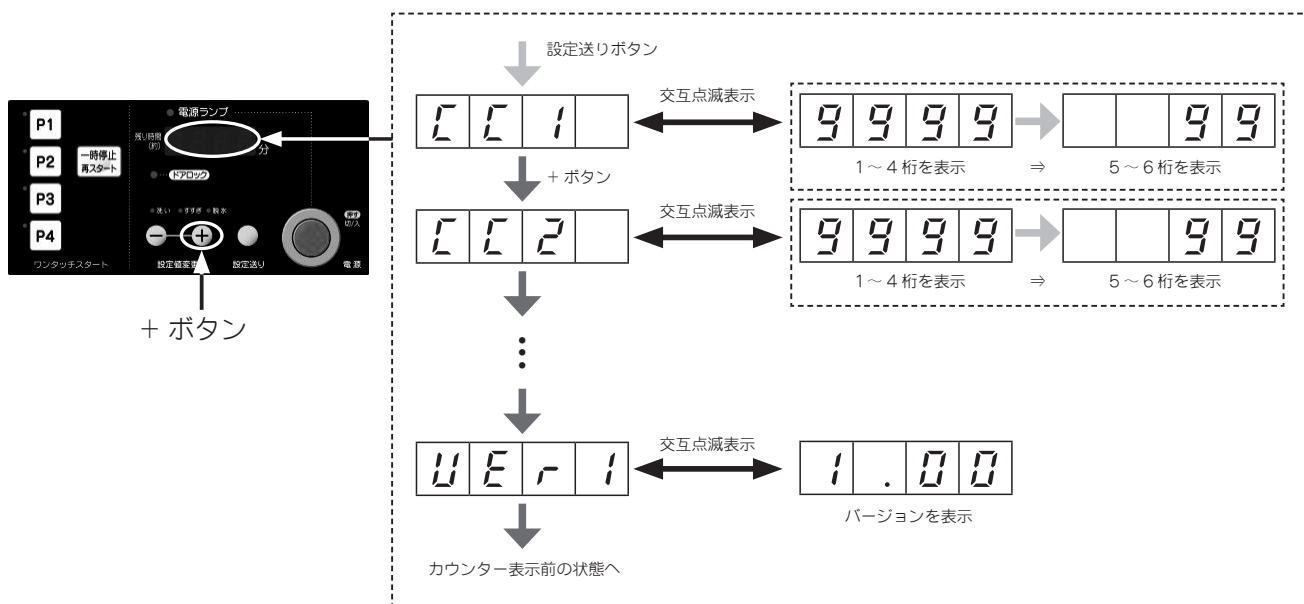
●表示のしかたは次のとおりです。

1 運転中または待機中に設定送りボタンを1回押すと、一つ目の項目の「**CC1**(コース1[P1] 運転回数)」が表示されます。



一時停止ボタン 設定送りボタン

2 + ボタンを押すたびに次のカウンター項目に進み、最後のカウンター項目まで終わるとカウンター表示前の状態に戻ります。(5分間ボタン操作が無かった場合もカウンター表示前の状態に戻ります。)



●カウンター表示中は + ボタンを押すたびに次のカウンター項目を表示します。

3 カウンターをリセットするときは、カウンター表示中に一時停止ボタンを10秒間押し続けます。



一時停止ボタンを10秒間押し続ける
 (5秒後に表示が点滅し、更に5秒後ブザーが2秒間鳴るとリセット完了です。)
 リセット完了後、表示はカウンター表示前の状態に戻ります。

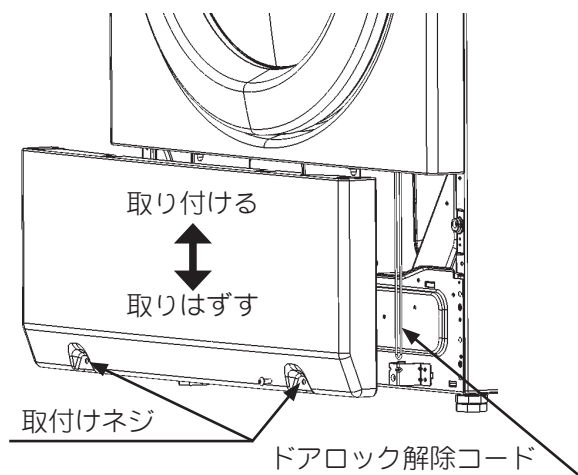
ご注意

- カウンターリセットは、運転回数やトラブル履歴を一度にリセットします。
- ブザーが鳴る前にボタンをはなすとリセットできません。もう一度やりなおしてください。

停電時の処置

- 運転中に停電になった場合、運転は停止し、排水バルブは動作しません。またドアはロックされたまま開きません。
- どうしても洗濯物を取り出したいときは、水位がドアの最下部より低いとき（ドアを開けても水または湯が本体よりあふれ出ない状態）に限り、ドアを開けてください。

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. ドアを開けても水または湯が本体よりあふれ出ないことを確認。
3. 前面板（下）の取付ネジ2ヶ所をはずし、前面板を下へ引っ張り取り外す。
4. ドアロック解除コードを下へ引っ張り、ドアロックを解除しドアを開ける。
5. 前面板（下）を元どおり取り付ける。



⚠ 注意

停止中でもドラム内に水（湯）がたまっているときは、ドアを開けないでください。ドラム内の水が高温になっていることがありますので、やけどをするおそれがあります。また電気部品の冠水は、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。

トラブルモニターについて

- 本機には、万一トラブルが発生した場合、トラブルモニターによりその内容を表示します。
- トラブルが発生すると、次の症状になります。
 - ①自動的に運転を停止。
 - ②表示部にトラブル番号と残り時間を交互に表示。
 - ③ブザーが10秒間鳴る。

1 トラブルの処置

- トラブルが発生した場合、表示している番号を確認し、下記の表に従い確認と処置を行ってください。

トラブルの内容と処置

表示	トラブル内容	確認項目と処置
H00	ドアロック異常	ドアがしっかり閉まっていますか。
H01	給水異常	・給水元バルブが開いていますか？ ・給水用ストレーナーが詰まっていますか。
H02	排水異常	排水口が詰まっていますか。
H03	バランス異常	ドアを開けて衣類をほぐし、ドアを閉めます。 一時停止ボタンを押すと、運転を再開します。
F00	モーター異常	トラブル解除で症状が改善されない場合、お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
F01	水位センサ異常	トラブル解除で症状が改善されない場合、お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
F05	表示基板異常	トラブル解除で症状が改善されない場合、お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
F06	駆動基板異常	トラブル解除で症状が改善されない場合、お買い上げの「販売店」または当社の「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

2 トラブルモニターの解除

- 電源スイッチをOFFにするとトラブルモニターを解除します。ただし、トラブルの内容によっては、ドアがロックされたまま開かないときや、ドラム内に水がたまっただけでトラブルモニターが解除できない場合があります。
- トラブルモニターを解除すると、解除前の運転をキャンセルします。
- 上表の処置を行っても運転しないときは電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」にご連絡ください。

⚠ 注意

- トラブル発生時は十分トラブルの原因を調べてから再スタートしてください。トラブルの原因を十分調べないまま何度も再スタートを行うと機械が故障したり、誤動作による事故や、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。
- 停止中でもドラム内に水（湯）がたまっているときは、ドアを開けないでください。ドラム内の水が高温になっていることがありますので、やけどをするおそれがあります。また電気部品の冠水は、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。

点検のお願い

毎日の始業前に点検してください

⚠ 警告

点検やお手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

1 洗濯機本体の清掃

⚠ 警告

本体清掃は必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

- 電源プラグをコンセントから抜き、洗濯機のフレーム、操作パネル、ドアなどを水またはぬるま湯で湿らせた柔らかい布でふいてください。
洗剤、タワシ、ミガキ粉、シンナー、ベンジン類は本体をいためますので絶対に使用しないでください。

2 ドアガラス、ドアパッキンの清掃

- ドアガラス、ドアパッキンに、糸くず、ホコリ、洗剤カス、砂などが付着しますので、湿った布でふき取ってください。
付着したまま使用すると水漏れの原因になるおそれがあります。
- ドアパッキンの溝に、洗濯物や異物が入りこんでいることがありますので、取り除いてください。

3 水漏れの点検

- 給水及び給湯配管の接続部のゆるみなどによる水漏れの点検を十分にしてください。

4 洗剤、柔軟剤の確認

- 洗剤および柔軟剤が空になっていないか確認してください。

⚠ 注意

洗剤及び柔軟剤が空の状態でも運転を行うと、洗剤ポンプや柔軟剤ポンプの故障や破損のおそれがあります。

⚠ 警告

この商品は、遠心機械です。この商品は法律により1年に1回の自主定期検査が必要です。また、その記録を3年間保管するよう義務付けられています。

検査項目：①回転体の異常の有無、②主軸の軸受部の異常の有無、③ブレーキの異常の有無、④外わくの異常の有無、⑤①～④に掲げる部分のボルトのゆるみの有無

(労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 第141条3項)

定期点検は、お買い上げの販売店または、当社の「お客さまご相談窓口」へお申し付けください。

修理を依頼される前に

機械が正常に動作しないときは、必ずしも機械の故障でない場合もありますので、まず次の点をお調べください。

①表示部が点灯していない場合

- 電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか。

②表示部が点灯している場合

- ドアが確実に閉まっているかどうか。
- 表示部にトラブルが表示されている場合は、「トラブルモニターについて」を参考にして処置してください。
- 給水、給湯の元バルブが開いているか。

以上の点を調べても運転しないときは電源プラグをコンセントから抜き、早めにお買い上げ販売店へご連絡ください。

⚠警告

自分で絶対に分解や修理、改造はしないでください。感電やショートによる火災、異常動作によるけがのおそれがあります。

アフターサービスと保証について

1) この商品には、保証書を別途添付しています

ご購入の際は必ず保証書をお受け取りの上、保存してください。尚、店名、設置年月日の記載のないものは無効となります。

2) 保証期間は設置日から、本体1年間、主軸・軸受部3年間です

保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

3) 保証期間経過後の修理については

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張費	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

4) 補修用性能部品の保有期間について

当社は、この全自動洗濯機の補修用性能部品を製

造打ち切り後、13年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5) 修理依頼時にご連絡いただきたい内容

以下の内容を事前に確認してご連絡ください。

- (1) 商品名 全自動洗濯機
- (2) 品番 HCW-5100WH
- (3) 設置日
- (4) お買い上げ販売店
- (5) 故障の状況（できるだけ詳しく。）
- (6) 製造番号（製品、保証書に記載してあります。）
- (7) おところ、おなまえ、電話番号
- (8) 訪問希望日

6) 修理やアフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

7) 外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

⚠警告

- 自分で絶対に分解や修理、改造はしないでください。感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。
- 本機を廃棄される場合は、本機前面のドアを取りはずしてください。子どものいたずらによる閉じ込め事故を防ぐためです。

転居または移設の場合

- 転居または移設される場合には、お買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」へご相談ください。この場合の費用は実費をいただきます。

仕様

最大洗濯容量	10kg	
洗濯方式	回転ドラム式	
脱水方式	遠心脱水式	
ドラム回転数	洗い	45rpm
	すすぎ	45rpm
	中間脱水	600rpm (バランス状態により回転数を下げる場合があります。)
	最終脱水	940rpm (バランス状態により回転数を下げる場合があります。)
ドラム寸法	Φ554×410mm	
定格消費電力	475W	
制御方式	マイクロコンピューター制御	
最大使用水量 (P1、綿布10kg時)	洗い	44L
	すすぎ1	40L
	すすぎ2	39L
	1サイクル	123L
配管口径	給水	20A (3/4B)
	給湯	20A (3/4B)
	排水	内径：50mm (硬質塩化ビニル管 呼び径40用)
電源	単相100V 50/60Hz	
電源コードの長さ	約2m	
外形寸法	幅	686mm
	奥行き	839mm
	高さ	1102mm
製品質量	136kg	

※電源電線は必ず据付工事編の「電気工事」に記載された容量以上のものを使用してください。

※本仕様ならびに装備は、改良のため予告なく変更することがあります。

付属部品

部 品	個 数	仕 様	用 途
排水ホース	1	軟質塩化ビニル 内径：50mm 長さ：1m	排水用
洗剤・柔軟剤ホース (フィルター付き)	2	軟質塩化ビニル 内径：8mm 長さ：3m	洗剤・柔軟剤 吸い込み用ホース
ホースバンド(大)	2		排水ホース用
ホースバンド(小)	4		洗剤・柔軟剤ホース用
エルボ	2		洗剤・柔軟剤ホース接続用
プログラム表示板	1	シール	プログラム表示用
給水ホース (フクロナット：白色)	1	1.5m	
給湯ホース (フクロナット：赤色)	1	1.5m	
給湯口用キャップ	1		給湯接続しない場合に、 給湯口に栓をします。
底板	1		
ネジ	8		底板固定用
キー	2	天板用2個	
取扱説明書	1	冊子	
保証書	1	複写式	
引渡確認書	1	複写式	

据付工事編

本機の性能を十分に発揮させ、かつ安全にご使用いただくため、据え付け、電気工事、給水排水配管工事はそれぞれ専門の工事業者が行ってください。

★必ず据え付けの前に次の注意事項をよくお読みいただき、正しく工事を行ってください。

★ここに示した注意事項は

使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った据付工事を行うと生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が傷害を負う場合または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

警告

据付工事を行う方へ

●製品を安全に正しくご使用いただくために本編の指示に従って工事を行ってください。

●据付工事に際しては給水・排水に関する法令や当該地域の条例および規定〔騒音・地震（転倒防止）など〕によるほか本編をご参照ください。

●据付工事終了後に取扱説明書および引渡し確認書に従って取り扱い上の注意事項をオーナーの方に説明してください。



強 制

屋外には設置しない

この洗濯機は室内用です。必ず屋内に設置してください。屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となるおそれがあります。



禁 止

アースは確実に取り付ける

本洗濯機専用のアースを必ず設けてください。万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させます。工事は接地工事についての指示に従ってください。（☞ ページ 38）



アース線接続

漏電遮断器は必ず取り付ける

本機を据え付けるときは、指定の過電流遮断器内蔵型の漏電遮断器を取り付けてください。

故障して漏電や過電流が流れたとき、感電、火災のおそれがあります。（☞ ページ 38）



漏電遮断器設置

電源仕様を確認する

工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているか確かめてください。電源仕様が異なっていると故障や異常動作によるけがのおそれがあります。



電源仕様確認

湿気の多い場所への設置はしない

浴室などの湿気の多い場所には据え付けしないでください。機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。



湿気禁止

基礎を一段高くする場合は

据え付け場所のコンクリート基礎を一段高くする場合は、移動防止金具（HHH-イドウボウシカナグ）を使用してください。万一、異常振動が発生した場合、洗濯機が落下するおそれがあります。



強 制

⚠️ 注意

本機の後ろ側に入るときは

機器の後ろ側には回転物や高温部があります。これらに触れてけが、やけどをしないように注意してください。



禁 止

本機の配置の際は

保守、点検などを容易にし、安全性、配管、配線などを考慮して、本機と建築物の部分等の離隔距離は本編の配置方法に従ってください。(☞ ページ 33)



離隔距離保持

配管に断熱材を施す

配管に凍結のおそれがある場合は、給水、給湯ホースに断熱材を施してください。ホースが破損すると水漏れが生じ、感電や漏電のおそれがあります。(☞ ページ 39)



凍結注意

機械の据え付け

●オーナーの方へ

⚠警告

本機の据え付け・電気工事・配管工事は、絶対に自分でしないでください。感電やショートによる火災、機械や建物の破損のおそれがあります。専門の業者に工事を依頼してください。

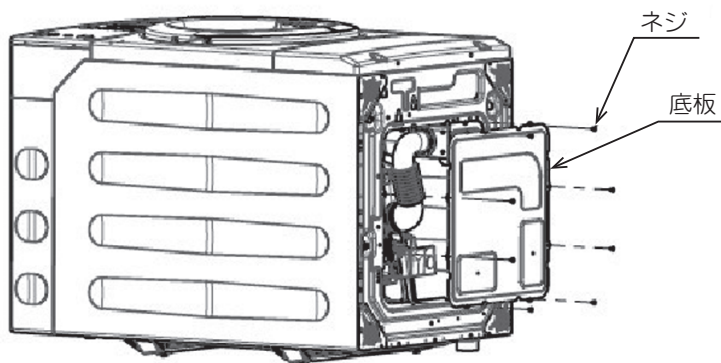
●工事業者の方へ

⚠警告

- 製品を安全に正しくご使用していただくために本編をよくお読みになり、指示に従って工事を行ってください。
- 据付工事の際は給水・排水に関する法令や当該地域の条例および規定〔騒音・地震（転倒防止）など〕によるほか本編をご参照ください。
- 据付工事終了後に取扱説明書および引渡し確認書に従って取り扱い上の注意事項をオーナーの方に説明してください。

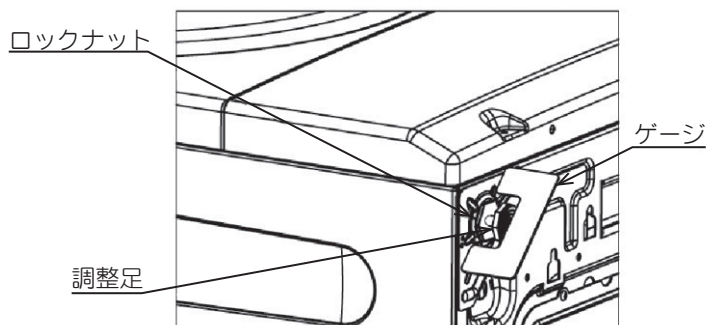
1 底板の取り付け

- 毛布等の上に後面を下にして製品を倒し、底板をネジ（8本）で固定してください。輸送金具は、必ず取り付けのまま倒してください。
- 製品を倒す時は、電源コードとアース線を傷つけないよう静かに行ってください。



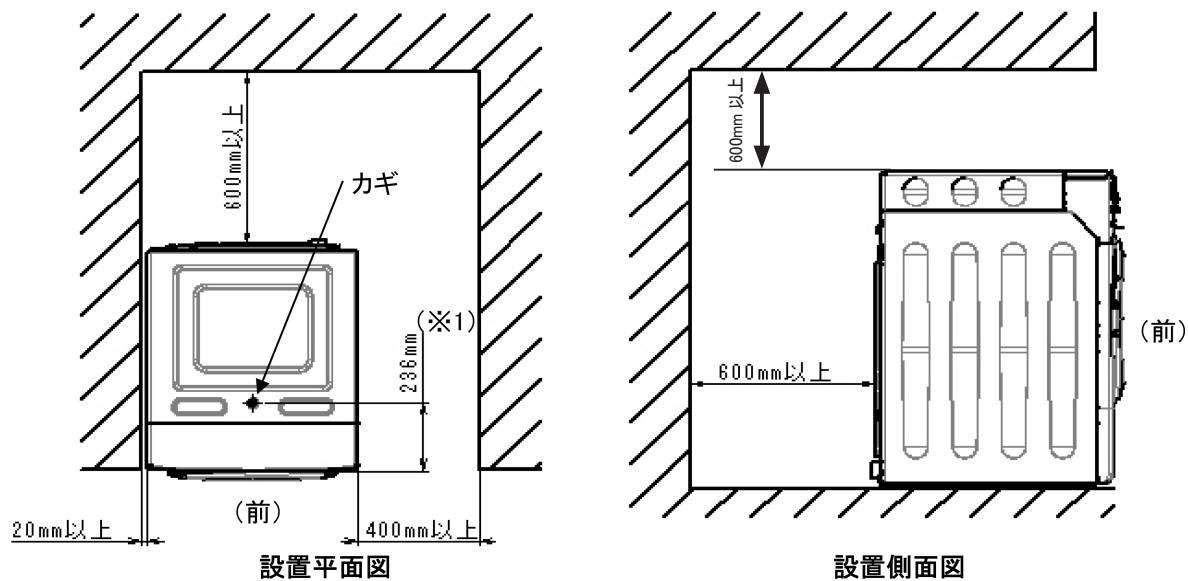
架台（別売り）に据え付ける場合

別売りの架台に製品を据え付ける場合は、製品を倒した時に調整足の高さを調整します。架台に付属されているゲージを使用して調整足の高さを 23mm に変更し、ロックナットでしっかり固定してください。



※ 架台（HHH- カダイ）は別売りです。お買い上げの「販売店」または本誌裏面掲載の「総合相談窓口」にご相談ください。

2 配置



- 側面の隙間は、設置平面図に示す状態と左右反対でも問題ありません。

<p>ご注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を2台以上並べて使用する場合、パネルの取り外しがスムーズに行えるように製品間の隙間を20mm以上設けてください。 ● はめ込みによる配置により、側面に点検用通路を設けない場合は、裏面を点検するための入口を別に設けてください。裏面を点検する入口を設けることができない場合は、本機の少なくとも一方に裏面点検用の通路(400mm以上)を設けてください。 	
------------	--	--

⚠ 警告

- この洗濯機は室内用です。屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となるので、必ず室内に設置してください。
- 湿気の多い場所には据え付けしないでください。機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。

⚠ 注意

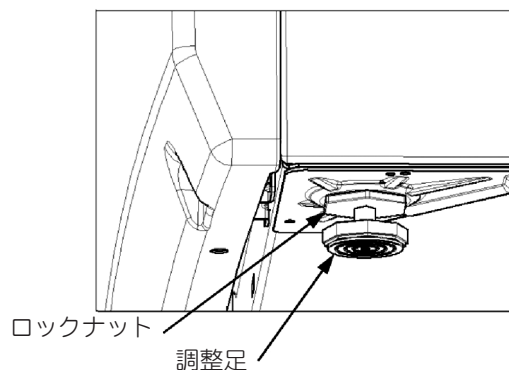
- 保守、点検などを容易にし、安全性、配管、配線などを考慮して、本機と建築物の部分等の離隔距離は図に従ってください。また、天板のカギの上方にはたれ壁等を設けないでください。
- 凍結のおそれのある場所には据え付けしないでください。機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。

3 据え付け

- 地震、その他の振動、衝撃により容易に転倒し破損しないようにしっかりとしたコンクリート土間に設置してください。
平らでない床、弱い床、凸凹な床の上では振動や騒音が大きくなります。
床が弱いときは販売店にご相談ください。
- 水平に設置し、機械底の4本の調整足を用いて、設置面にながつきのないようにしてください。
ながつきがあると、脱水時の振動、騒音や故障の原因になります。

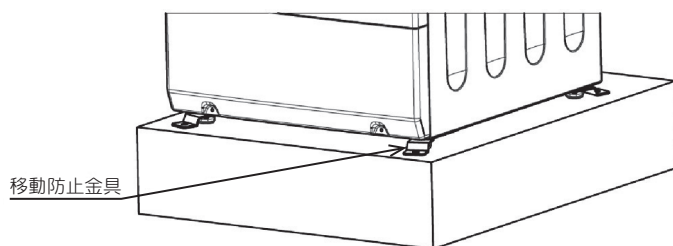
【調整足の調整方法】

- ① ロックナットを緩めます。
- ② 調整足を回して水平を調整します。
- ③ がたつきのないことを確認して、ロックナットを締め付けます。



⚠ 警告

据え付け場所のコンクリート基礎を一段高くする場合は、移動防止金具（HHH-イドウボウシカナグ）を使用してください。万一、異常振動が発生した場合、洗濯機が落下するおそれがあります。
移動防止金具は別売りです。お買い上げの「販売店」または本誌裏面掲載の「総合相談窓口」にご相談ください。



架台（別売り）に据え付ける場合

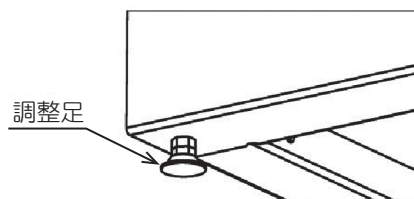
※架台（HHH- カダイ）は別売りです。お買い上げの「販売店」または本誌裏面掲載の「総合相談窓口」にご相談ください。

●架台（HHH- カダイ）の内容物

品名	個数	品名	個数
架台	1	M10 ボルト（ワッシャー無し）	4
固定金具	4	M5 ボルト（ワッシャー付き）	4
調整足	4	M12 角ワッシャー	4
調整足カバー	2	M10 高ナット	4
M10 ボルト（ワッシャー付き）	8	ゲージ	1

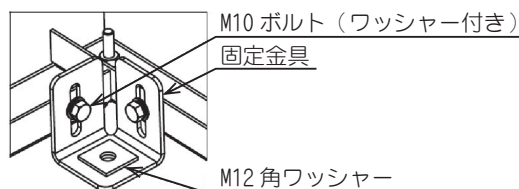
●据え付け方法

- ① 架台に調整足を、最後までねじ込みます。
尚、架台を直接床に置く場合は、③に進んでください。



- ② 据え付け場所に架台を置き、調整足で水平をとります。
ゴムブッシュの付いている面が、後面です。

- ③ 固定金具と架台を、しっかりと M10 ボルト（ワッシャー付き）で固定します。

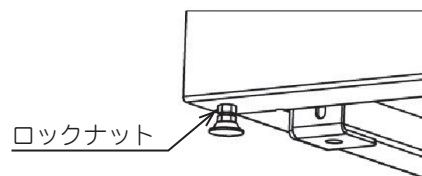


- ④ 角ワッシャーを用いて、固定金具をアンカー固定します。アンカーボルトは、M12 を使用してください。

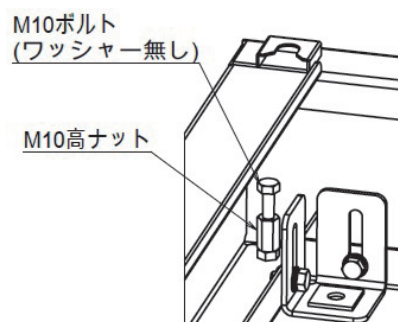
- ⑤ 調整足を伸ばす方向に回し、架台をつっぱります。それから、ロックナットで調整足を固定します。

《ポイント》

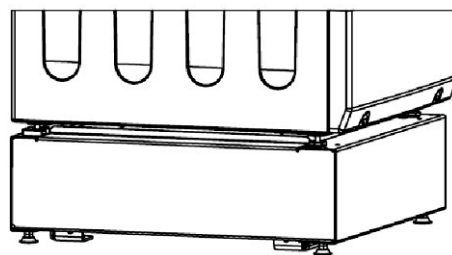
架台をつっぱることにより、洗濯機の脱水振動低減に効果があります。



架台を直接床に置く場合は、架台の内部から M10 ボルト（ワッシャー無し）と M10 高ナットでつっぱります。

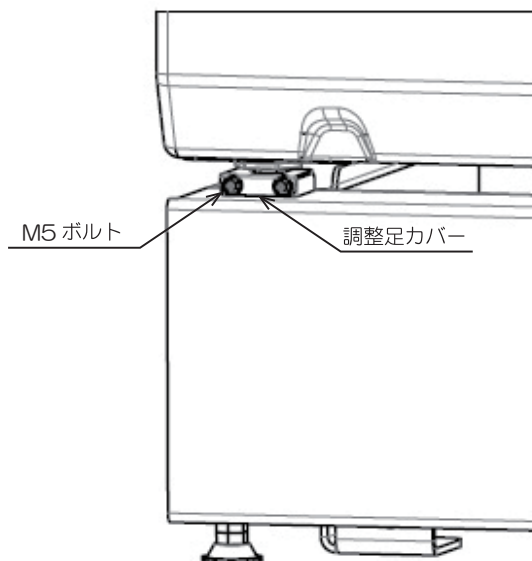


- ⑥ 洗濯機を架台に載せます。尚、この時までには洗濯機の調整足の高さを調整しておく必要があります。調整方法については、「1 底板の取り付け」(ページ 33) ページを参照してください。



- ⑦ 洗濯機ががたつく場合は、洗濯機の調整足の高さ調整を行ってください。

- ⑧ 調整足カバーを M5 ボルトで固定します。

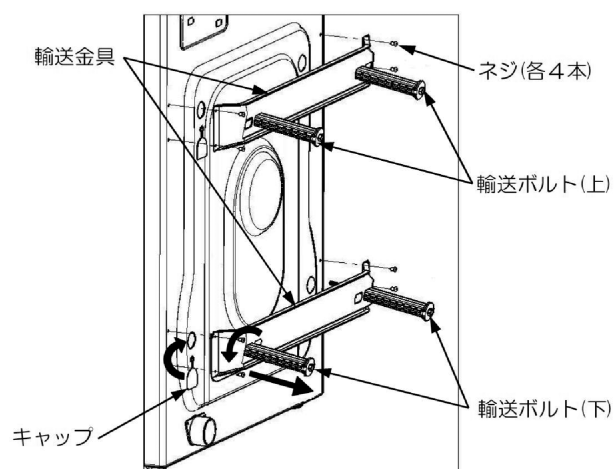


4 輸送金具の取り外し

ご注意	<p>この機械の後面に取り付けられた輸送金具を取り外してください。輸送金具を付けたまま運転すると、異常振動や機械が破損するおそれがあります。輸送金具を取り外す時は、必ず手袋、長袖等の保護具を着用してください。</p>
-----	--

【輸送金具の取り外し手順】

1. 先に下側の輸送ボルト 2 本を外します。
2. 次に上側の輸送ボルト 2 本を外します。
3. ネジを緩めて、輸送金具を取り外します。
4. 輸送ボルトの穴にキャップをします。



電気工事

電気工事には電気工事士の資格が必要です。専門の工事業者に工事を依頼してください。

5 電 源

- 電源には必ず本機専用として下記仕様のものを設けてください。
単相 100V 50 または 60Hz
定格電流：15A
漏電遮断器（感度電流 30mA 動作時間 0.1 秒以内）
- 電源電線は下記容量以上のものを必ず使用してください。
より線…2.0mm² 単線…φ 1.6（導体径）
- 電気配線はできるだけ金属線管又はフレキシブルコンジットで保護してください。
- 電気配線は蒸気配管に接近させないでください（15cm 以上離すこと。）

< ご注意 >

設備大元に漏電遮断器を設置している場合の感度電流は、「30mA × 接続台数」以上となるようにしてください。

⚠ 警告

- 本機を据え付けるときは、漏電遮断器を取り付けてください。故障して漏電、過電流が流れたとき、感電、火災のおそれがあります。
- 故障などの理由により電源コードを交換する場合、お買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」、専門の工事業者に工事を依頼してください。

⚠ 注意

据付工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているかどうか確かめてください。電源仕様が異なっていると、故障や異常動作によるけがのおそれがあります。

6 アース

⚠ 警告

専門の工事業者に依頼し、必ず本機専用の D 種接地工事（第 3 種接地工事）を行ってください。万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させるためです。

ただし、次のようなところにはアース線を接続しないでください。

- 水道管：配管の途中で塩化ビニル管の場合はアースされません。
- ガス管：爆発や引火の危険があります。
- 電話線のアースや避雷針
落雷のとき大きな電流が流れて危険です。

- アース工事は本機後面の緑 / 黄色のアース線をアース端子に接続して本機単独の D 種接地工事（第 3 種接地工事）を行ってください。

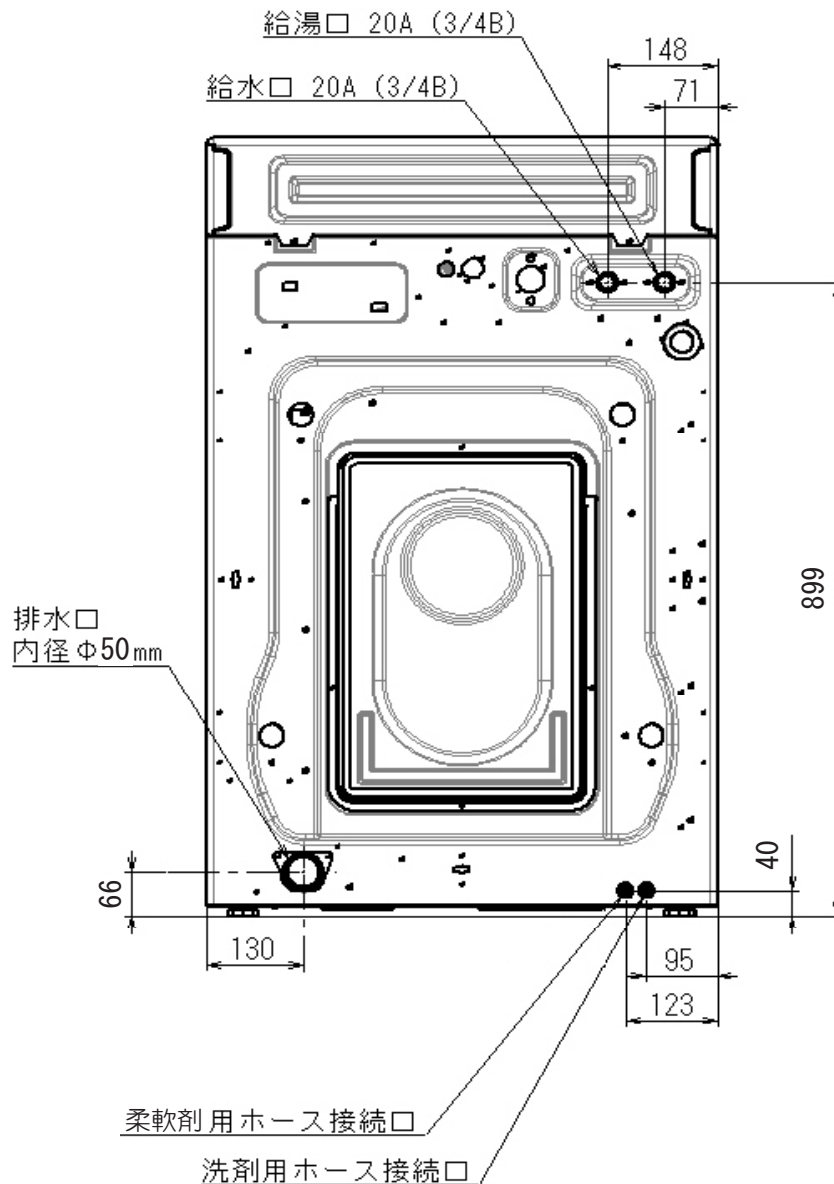
（注）アースについては、D 種接地工事（第 3 種接地工事）が法規で義務づけられています。

7 給水、排水配管

⚠ 注意

- 洗濯機の給水・給湯口の配管は水道法の「給水装置」として取り扱われます。弊社の洗濯機の洗濯槽内の給水口から水面（越流面）までの吐水口空間は200mm以下ですので、適切な逆流防止対策（受水槽方式など）が必要です。各市町村の水道局または水道課にご確認ください。
- 排水液には有害物質は含まれていませんが、排水経路によっては届出が必要です。地域の保健所などにご確認ください。

1 配管位置と寸法

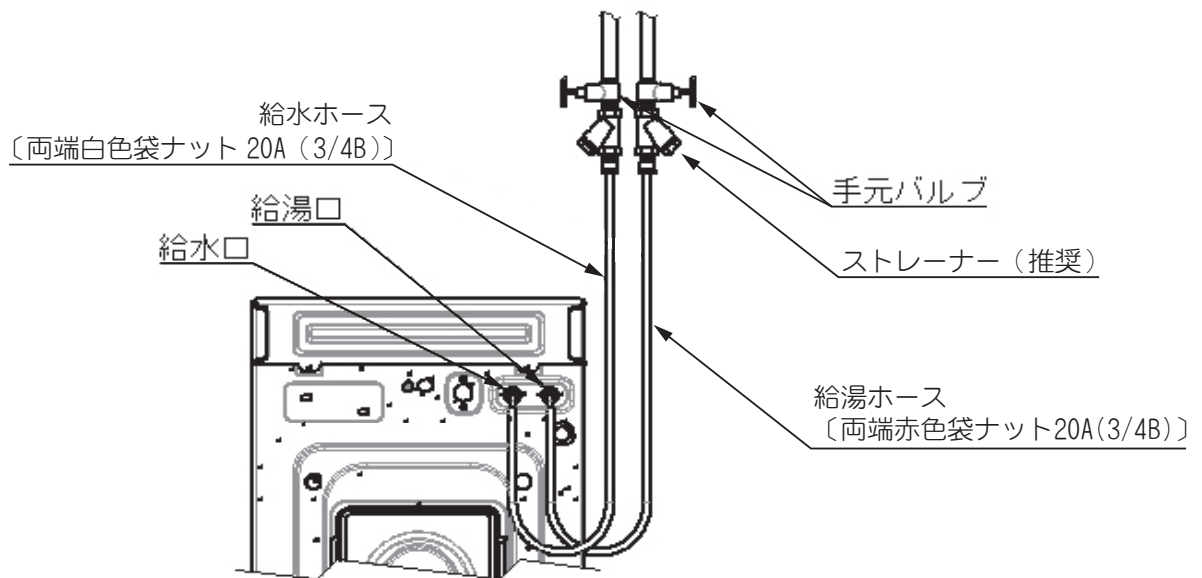


2 給水、給湯配管

ご注意	給水・給湯ホースを機械に接続する前に、設備側の配管に十分通水してください。 配管内のシールテープ、配管ゴミ、スケールなどが、給水・給湯バルブに詰まることが多くあります。
-----	---

⚠ 注意

- 給湯に使用する温水は 60℃以下にしてください。高温水を使用すると衣類を傷めたり、プラスチック部品の変形や傷みにより感電や漏電のおそれがあります。
- 給水（給湯）の配管接続には、必ず新しい配管を使用し、古い配管の再使用はしないでください。破損による水漏れの生じるおそれがあります。



- 付属の給水（袋ナット：白色）・給湯（袋ナット：赤色）ホースを用いて給水口（給湯口）に給水（給湯）配管を接続してください。
付属の給水・給湯ホースを使用せずに直接配管接続すると、振動により機械・配管が破損し水漏れのおそれがあります。
- 設備側の管末には、フレキシニッブル（G3/4）をご使用ください。
- 給水・給湯ホースの袋ナットの締め付けは、先ず手でいっぱいまで回します。そこからさらにプライヤー等で1/2回転締め付けてください。
- 給水、給湯とも必ず手元バルブを取り付けてください。（手元バルブは本体に付属していません）
- 設備側の配管には、ストレーナーの取り付けを推奨します。
- 給水（給湯）圧力は、0.05～0.3MPa（流動圧）を保ってください。
水圧が低すぎる場合…運転時間が長くなります。
水圧が高すぎる場合…給水、給湯バルブが正常に動作しなくなります。
- 配管に凍結のおそれがある場合は、断熱材を施してください。

【給湯を行わない場合】
給湯を行わない場合は、下記のどちらかの方法を選択してください。

『パターン①』

給湯口にも、給水配管を接続します。

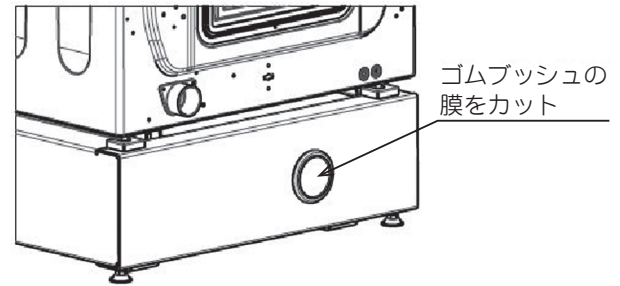
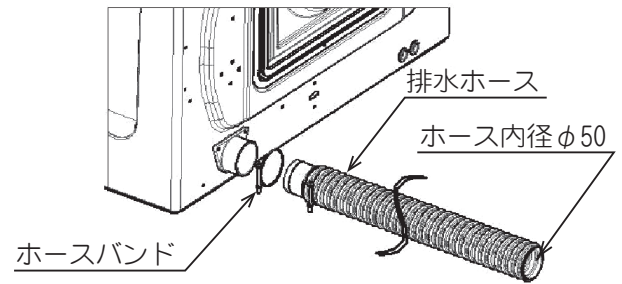
『パターン②』

給湯口に、付属のキャップを接続します。

但し、この場合は「各種設定のしかた」（☞ ページ 17～19）を参照の上、給湯を無しに設定変更してください。設定を変更しない場合、トラブルモニター（給水不良）が発生します。また、試運転の P53、P57 も運転できません。

3 排水配管

- 付属の排水ホース・ホースバンドを用いて、排水口と接続してください。排水ホースは、排水口までの長さに合わせて切断し、排水口と接続してください。
- 設備側排水口と排水ホースの接続部は、シリコンシーラント等で水漏れ防止を施してください。
- 排水ホースの最小曲げ半径は、中心で180mm以下にしてください。
- 排水の匂いが気になる場合は、U字トラップ構造としてください。
- 排水ホースが途中で高くなる場合は、製品据付面からホースの底部までを70mm以下にしてください。
- 別売りの架台の後面には、真下排水用のホース引き込み穴が設けられています。真下排水を行う場合は、ゴムブッシュの膜をカットして、排水ホースを製品の真下に引き込んでください。



4 洗剤、柔軟剤吸込み用ホース

- 付属の洗剤、柔軟剤ホース・ホースバンドを用いて、製品後部右下の洗剤、柔軟剤用ホース接続口に接続してください。
詳しくは、「洗剤、柔軟剤のセット方法」(☞ ページ14)を参照してください。
- 据付時や、洗剤、柔軟剤のタンクを交換したときは、試運転モニターのP58、P59を運転し、ホース内のエアを抜き取ってください。エア抜きを行わないと、洗剤、柔軟剤が正しく注入されません。試運転の方法は、「試運転モニターの運転方法」「試運転モニターについて」(☞ ページ8～12)を参照してください。

プログラム設定内容記録表

- 各種設定の内容を変更した場合は、この記録用紙に設定値を記録してください。
- 工場出荷時の設定値および設定方法の詳細については、「各種設定のしかた」(☞ ページ 17 ~ 22) を参照してください。

設定記録表

設定項目 (表示)	設定内容	お客様設定値					
		年	月	日	年	月	日
ドラム洗浄時間 (Fun)	1~5分 (1分単位)						
給湯有無設定 (oyu)	ON(有効),OFF(無効)						

		年	月	日							
P1	行程種別 No.	行程	設定種別 No.								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
		設定時間 (分)	冷水量 (L)	温水量 (L)	洗剤 (秒)	柔軟剤 (秒)	予備出力 (秒)※	脱水時間 (分)	脱水回転 (rpm)	排水有無	
	1	洗い1									
	2	洗い2									
	3	すすぎ1									
	4	すすぎ2									
P2	行程種別 No.	行程	設定種別 No.								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
		設定時間 (分)	冷水量 (L)	温水量 (L)	洗剤 (秒)	柔軟剤 (秒)	予備出力 (秒)※	脱水時間 (分)	脱水回転 (rpm)	排水有無	
	1	洗い1									
	2	洗い2									
	3	すすぎ1									
	4	すすぎ2									
P3	行程種別 No.	行程	設定種別 No.								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
		設定時間 (分)	冷水量 (L)	温水量 (L)	洗剤 (秒)	柔軟剤 (秒)	予備出力 (秒)※	脱水時間 (分)	脱水回転 (rpm)	排水有無	
	1	洗い1									
	2	洗い2									
	3	すすぎ1									
	4	すすぎ2									
P4	行程種別 No.	行程	設定種別 No.								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
		設定時間 (分)	冷水量 (L)	温水量 (L)	洗剤 (秒)	柔軟剤 (秒)	予備出力 (秒)※	脱水時間 (分)	脱水回転 (rpm)	排水有無	
	1	洗い1									
	2	洗い2									
	3	すすぎ1									
	4	すすぎ2									

※予備出力には何も接続されていません。予備出力は、本機に助剤投入装置を追加した場合に使用します。

年 月 日

行程種別 No.	行程	設定種別 No.								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
		設定時間 (分)	冷水量 (L)	温水量 (L)	洗剤 (秒)	柔軟剤 (秒)	予備出力 (秒) ※	脱水時間 (分)	脱水回転 (rpm)	排水有無
P1	1	洗い1								
	2	洗い2								
	3	すすぎ1								
	4	すすぎ2								
	5	すすぎ3								
	6	最終脱水								
P2	1	洗い1								
	2	洗い2								
	3	すすぎ1								
	4	すすぎ2								
	5	すすぎ3								
	6	最終脱水								
P3	1	洗い1								
	2	洗い2								
	3	すすぎ1								
	4	すすぎ2								
	5	すすぎ3								
	6	最終脱水								
P4	1	洗い1								
	2	洗い2								
	3	すすぎ1								
	4	すすぎ2								
	5	すすぎ3								
	6	最終脱水								

※予備出力には何も接続されていません。予備出力は、本機に助剤投入装置を追加した場合に使用します。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居または移設でお困りの場合は、お買い上げの販売店、または下記の相談窓口にお問い合わせください。


商品についての全般的なご相談

〈アクア株式会社〉

受付時間:(365日)9:00~18:00

総合相談窓口

TEL  0120-656-292

FAX  0570-060-292 (有料)

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡頂いた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

- <利用目的> ● お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- <業務委託の場合> ● 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <http://aqua-has.com/> をご覧ください。

アフターサービスと保証について

- 保証書は必ずお受け取りの上、保存してください。
- 保証期間は設置日から1年間、主軸・軸受部3年間です。
- 保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 商品の補修用性能部品の保有年数は製造打ち切り後13年です。
- 修理やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

＝ お客さまメモ ＝

・ご購入の際に記入しておいてください。修理などを依頼されるとき便利です。

品番	HCW-5100WH
設置年月日	年 月 日
お買い上げ販売店名	電話番号 () -

アクア株式会社